

授業計画(シラバス)

科目名		実践行動学Ⅰ（就職実務含む）		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
時間数（通年）		30時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		・就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。					
評価方法 評価基準		・授業態度・提出物・活動状況など。					
使用教材		・SUCCESS					
授業外学習の方法		・この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	オリエンテーション		就職活動について			
	2	就職活動の心構え身だしなみ		昨年の資料に基づくレクチャー			
	3	就職活動での身だしなみ		身だしなみ			
	4	就職活動の流れ		学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い			
	5	職業を知る		業界の常識をレクチャー			
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1		業界マップの理解			
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2		業界ごとに必要な仕事内容を理解する			
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3		業界ごとに必要な仕事内容を理解する			
	9	自分自身を知る 自分史作成 1		自己PRのネタを探す			
	10	自分自身を知る 自分史作成 2		自己PRのネタを探す(経験)			
	11	自分自身を知る 自分史作成 3		自己PRのネタを探す(特性)			
	12	自分自身を知る 自分史作成 4		自己PRの骨格を作る			
	13	自分自身を知る 自分史作成 5		自己PRの骨格を作る(実践編)			
	14	志望動機の作り方 1		業界、会社にあった動機作り			
	15	志望動機の作り方 2		業界、会社にあった動機作り			
	16	自己PRの作り方 1		業界、会社に合った自己PR 作り			
	17	自己PRの作り方 2		業界、会社に合った自己PR 作り			
	18	自己PRの作り方 3		業界、会社に合った自己PR 作り			
	19	履歴書作成		期末評価			
	20	履歴書作成		まとめ			
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		実践行動学Ⅰ（就職実務含む）		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習： 実技：	
時間数（通年）		30時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		・就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。					
評価方法 評価基準		・授業態度・提出物・活動状況など。					
使用教材		・SUCCESS					
授業外学習の方法		・この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1		業界、会社にあった動機作り			
	2	志望動機の作り方 2		業界、会社にあった動機作り			
	3	作成書類 1		履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類（事務局の書類の手続き）、ポートフォリオなど *履歴書の完成			
	4	作成書類 2					
	5	作成書類 3					
	6	企業訪問		準備、当日、事後の指導			
	7	就職試験のマナー 1		入退室			
	8	就職試験のマナー 2		面接試験対策 1			
	9	就職試験のマナー 3		面接試験対策 2			
	10	筆記試験対策 1		筆記試験について、種類や方法を知る			
	11	筆記試験対策 2		特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)			
	12	筆記試験対策 3		特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)			
	13	企業研究 1		求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)			
	14	企業研究 2		求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)			
	15	企業研究 3		求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)			
	16	履歴書・面接試験		履歴書、入退室の確認は必須			
	17	履歴書・面接試験		履歴書、入退室の確認は必須			
	18	ポートフォリオについて		作品について			
	19	まとめ		就職活動のまとめ			
	20	レポート		レポート提出			
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		ファッション販売論 I		指導担当者名		舞木 克奈子	
実務経験		アパレル企業実務経験9年				実務経験：有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：実技：	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定3級取得。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売」、「ファッション販売3 3級公式問題集」					
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	1 ファッション販売知識		テキスト準備 ファッションとは/ファッション販売について			
	2	1 ファッション販売知識		テキスト準備 ファッション小売業の業種・業態			
	3	1 ファッション販売知識		テキスト準備 お客様にとってみせとは/お客様について			
	4	1 ファッション販売知識		テキスト準備 ライフスタイルショップ			
	5	1 ファッション販売知識		テキスト準備 販売スタッフの基本マナー			
	6	2 ファッション販売技術		テキスト準備 購買心理の理解/買い物の仕方			
	7	2 ファッション販売技術		テキスト準備 接客の基本とコンサルティングセールス			
	8	2 ファッション販売技術		テキスト準備 包装/贈答のマナー			
	9	3 商品知識		テキスト準備 アイテムの知識/インナーウェアの知識			
	10	3 商品知識		テキスト準備 服飾雑貨/素材の種類と加工/シルエットの知識			
	11	3 商品知識		テキスト準備 衣服の構成とディテール/柄の種類と特徴			
	12	3 商品知識		テキスト準備 色彩と配色の知識			
	13	3 商品知識		テキスト準備 サイズの知識			
	14	3 商品知識		テキスト準備 商品の品質管理/副資材の種類			
	15	3 商品知識		テキスト準備 店舗環境づくり			
	16	3 商品知識		テキスト準備 マーチャンダイズプレゼンテーション/マーケティングの基礎知識			
	17	3 商品知識		テキスト準備 ファッション店のマーケティング/情報収集の目的と必要性			
	18	3 商品知識		テキスト準備 販売業務と付帯業務			
	19	3 商品知識		テキスト準備 備品管理/商品管理/店舗係数知識/キャリアプラン			
		20	期末テスト		期末テスト		
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション販売論 I		指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験	アパレル企業実務経験9年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定3級取得。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売」、「ファッション販売3級公式問題集」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	ECサイト	ECサイトの運営方法、業務内容		
	2	インフルエンサーについて	SNSを利用したPR		
	3	リーダーシップの作り方	チーム作り		
	4	チームビルディング	行動目標の共有		
	5	ミーティングのやり方	報告・連絡・相談、モチベーションを上げる		
	6	ディベロッパーとのコミュニケーション	営業担当にサポートしてもらう		
	7	データ管理と改善力	売上管理、在庫管理		
	8	クレーム対応	クレームの電話対応、商品交換		
	9	骨格タイプの見分け方	似合う服の提案		
	10	コーディネート接客	ニーズを踏まえた提案		
	11	試着対応	試着の際の接客		
	12	メール対応	メールでのやり取り		
	13	電話対応	電話での対応方法		
	14	DM	DMの内容、メッセージの書き方		
	15	これからのファッション業界について	市場の流れ、デジタル化など		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		パーソナルカラー		指導担当者名		小池 久子	
実務経験		カラーコーディネート 実務経験14年				実務経験:	有
開講時期		前期		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義:○		演習:		実習:	
時間数(通年)		45時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・パーソナルカラー検定モジュール1の取得。 ・ブライダル業界において通用するカラーの知識を身に付ける。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		はじめてのパーソナルカラー パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック 新配色カード199a					
授業外学習 の方法		テキストの範囲を読んでおく。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	第1章式の自然を表す色 日本の色の歴史赤系、橙系		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	2	第1章色と生活 色の種類 赤系統		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	3	第1章色の種類橙系統 第2章色の仕組みⅠ 光について		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	4	第1章色の種類 黄系統 第2章色の仕組みⅡ 光源、目の構造		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	5	第1章日本の色の歴史 身分、禁色、襲の色目 日本の色の歴史 黄系、緑系		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	6	第1章わび・さび 江戸時代の色彩文化 日本の色の歴史青系、紫系		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	7	ファッション概論、ブライダル色彩		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	8	肌、皮膚、髪 色と種類		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	9	第1章色の種類 青系統 第2章CUS色調		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	10	第1章色の種類緑系統 第2章色の三属性 CUS色相		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	11	パーソナルカラーの特徴 色の種類(グレー)		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	12	パーソナルカラー診断 色彩演習		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト			
	13	色彩心理・色彩アートセラピー		色彩演習			
	14	色彩心理・色彩アートセラピー		色彩演習			
	15	色彩心理・色彩アートセラピー		色彩演習			
	16	色彩心理・色彩アートセラピー		色彩演習			
	17	色彩心理・色彩アートセラピー		色彩演習			
	18	色彩心理・色彩アートセラピー		色彩演習			
	19	テスト		確認テスト			
	20	検定試験		パーソナルカラー検定 モジュール1受験			
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		アパレルマーケティングⅠ		指導担当者名		笹原 和加子	
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験： 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義：		演習：○		実習： 実技：	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		・テキスト 学校法人文化学園 文化出版局 発行『服飾造形講座「服飾造形の基礎」』 ・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行『服飾造形講座「ブラウス・ワンピース」』					
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	第1章 服飾造形の概要		衣服と服飾造形、衣服の分類、衣服政策のプロセス			
	2	第2章 服飾造形の概要		衣服製作のための用具			
	3	第3章 衣服製作のための人体と計測		衣服製作のための人体について			
	4	第3章 衣服製作のための人体と計測		衣服製作のための人体計測			
	5	第4章 パターン製作の基礎		平面作図と立体裁断について、原型について			
	6	第4章 パターン製作の基礎		平面作図の基礎			
	7	第4章 パターン製作の基礎		体型と原型			
	8	第4章 パターン製作の基礎		パターン操作法			
	9	第5章 衣服素材と付属材料		衣服素材とデザイン、付属材料			
	10	第6章 裁断縫製の基礎		使用量の見積もり方、地づめ、地直し、生地を表裏の見分け方			
	11	第6章 裁断縫製の基礎		裁断、印付け			
	12	第6章 裁断縫製の基礎		布地に合わせた糸、針の選び方			
	13	第6章 裁断縫製の基礎		基本縫い・手縫い			
	14	第6章 裁断縫製の基礎		基本縫い・手縫い			
	15	第6章 裁断縫製の基礎		基本縫い・手縫い			
	16	第6章 裁断縫製の基礎		基本縫い・手縫い			
	17	第6章 裁断縫製の基礎		基本縫い・手縫い			
	18	第6章 裁断縫製の基礎		ミシン縫いの基本			
	19	第6章 裁断縫製の基礎		ミシン縫いの基本			
			スカート制作・提出		テキスト準備 提出確認		
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		アパレルマーケティングⅠ		指導担当者名		笹原 和加子	
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験： 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義：		演習：○		実習： 実技：	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		・テキスト 学校法人文化学園 文化出版局 発行『 服飾造形講座「服飾造形の基礎」』 ・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行『 服飾造形講座「ブラウス・ワンピース」』					
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得			
	2	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得			
	3	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得			
	4	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得			
	5	スカート(裏)制作・発表		テキスト準備 提出確認			
	6	第1章 ブラウス		ブラウスについて、ブラウスの名称、デザインと作図			
	7	第1章 ブラウス		仮縫い方法と試着補正法			
	8	第1章 ブラウス		縫製法			
	9	第1章 ブラウス		部分縫い・前立て			
	10	第1章 ブラウス		部分縫い・タック			
	11	第1章 ブラウス		部分縫い・シャーリング			
	12	第1章 ブラウス		部分縫い・スリット			
	13	オリジナル制作		縫製確認			
	14	オリジナル制作		縫製確認			
	15	オリジナル制作		縫製確認			
	16	オリジナル制作		縫製確認			
	17	オリジナル制作		縫製確認			
	18	オリジナル制作		縫製確認			
	19	オリジナル制作		縫製確認			
	20	提出		提出確認			
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		ファッション学 I		指導担当者名		舞木 克奈子			
実務経験		アパレル企業実務経験9年				実務経験:		有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年			
授業方法		講義:◎		演習:○		実習:○		実技:	
時間数(通年)		60時間		週時間数		2時間			
学習到達目標		・戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。							
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。							
使用教材		テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」/モードエモード							
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。							
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等					
授 業 計 画 前 期	1	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター		テキスト準備 ファッション概論 / ファッションとは 等					
	2	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター		テキスト準備 スタイリストとは / スタイリストの仕事の種類と分類 等					
	3	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター		テキスト準備 スタイリストの仕事 等					
	4	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター		テキスト準備 ウェディングプランナーとスタイリスト 等					
	5	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター		テキスト準備 ヘアメイクアップアーティスト 等					
	6	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター		テキスト準備 インテリアコーディネーター / カラリスト 等					
	7	第2章 色の知識と基本的な技術		テキスト準備 色の体系 / 色彩 / 色の効果 / 流行色とファッション情報 等					
	8	第3章 戦後ファッション概観		テキスト準備 着物文化から洋服文化へ 等					
	9	第3章 戦後ファッション概観		テキスト準備 経済高度成長期 マスプロ、マスセール 等					
	10	第3章 戦後ファッション概観		テキスト準備 経済低成長期 スタイリストの誕生(量から質へ)					
	11	第3章 戦後ファッション概観		テキスト準備 バブル経済 DCブランド～インポートブランド					
	12	第3章 戦後ファッション概観		テキスト準備 ラグジュアリーブランドの発展					
	13	第3章 戦後ファッション概観		テキスト準備 国際的な不況の時代 ファストファッション アジアの時代					
	14	期末テスト		テスト問題準備					
	15	期末テストフィードバック		テスト問題準備					
	16	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性		テキスト準備 ファッションコーディネートの基本原理 等					
	17	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性		テキスト準備 素材の組み合わせによるコーディネート 等					
	18	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性		テキスト準備 イメージの組合せによるコーディネート					
	19	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性		テキスト準備 ライフスタイルによるコーディネート					
	20								
履修上の留意点									
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

授業計画(シラバス)

科目名		ファッション学Ⅰ		指導担当者名		舞木 克奈子		
実務経験		アパレル企業実務経験9年				実務経験:		有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年		
授業方法		講義:◎		演習:○		実習:○		実技:
時間数(通年)		60時間		週時間数		2時間		
学習到達目標		・戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」						
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。						
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	ブランド調査			モードエモード・WEB・市場調査			
	2	ブランド調査			ブランドの歴史について			
	3	ブランド調査			ブランドデザイナーについて			
	4	ブランド調査			マップ作成			
	5	ブランド調査			プレゼンテーション			
	6	ファッション映画について			ファッション映画鑑賞・レポート作成			
	7	ファッション映画について			ファッション映画鑑賞・レポート作成			
	8	ファッション映画について			ファッション映画鑑賞・レポート作成			
	9	ファッション映画について			ファッション映画鑑賞・レポート作成			
	10	ファッション映画について			ファッション映画鑑賞・レポート作成			
	11	ファッション専門用語			テキスト準備 ファッション用語集			
	12	ファッション専門用語			テキスト準備 ファッション用語集			
	13	ファッション専門用語			テキスト準備 ファッション用語集			
	14	シーンにあわせたコーディネート			冠婚葬祭のファッションマナー			
	15	シーンにあわせたコーディネート			冠婚葬祭のファッションマナー			
	16	ニュアンスコーデ・ドレスコード			ニュアンスコーデ・ドレスコードDAYレポート作成			
	17	期末テスト			テスト問題準備			
	18	期末テストフィードバック			テスト問題準備			
	19							
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		商品企画Ⅰ		指導担当者名		大島 成也	
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験35年				実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義:		演習:○		実習:	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備					
授業外学習 の方法		授業内での配布資料の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	企画書とはどのようなものか		プリント準備 あなたのつくる企画書があなたの評価を作る 等			
	2	企画書とはどのようなものか		プリント準備 優れた企画案と正しい準備で成功の企画書をつくる 等			
	3	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方		プリント準備 企画書づくりに必要な変化を読み取るための源情報 等			
	4	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方		プリント準備 ビジネスに必要な情報をインターネットから検索してみよう 等			
	5	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方		プリント準備 情報分析の第一歩は気づき情報のあらい直しから 等			
	6	成功を呼ぶ企画テーマづくり		プリント準備 稀代キーワードを上手く活用して、ヒットの企画書をつくる 等			
	7	成功を呼ぶ企画テーマづくり		プリント準備 ターゲットに注目して、時代を先取りする企画テーマをつくる 等			
	8	成功を呼ぶ企画テーマづくり		プリント準備 生活向上型の企画テーマも発想の転換でヒットを生み出す 等			
	9	受け手をうならせる企画案をつくろう		プリント準備 企画書を生かすも殺すも企画案の出来次第 等			
	10	受け手をうならせる企画案をつくろう		プリント準備 ヒットの企画案の基本になるのは商品コンセプト 等			
	11	受け手をうならせる企画案をつくろう		プリント準備 クリエイティブな発想でコンセプトを商品化しよう			
	12	期末試験		試験問題準備			
	13	中間試験フィードバック / 企画案のための「調査」のポイント		プリント準備 あなたの私的な仮説は「調査」によって、公的な根拠を獲得する			
	14	企画案のための「調査」のポイント		プリント準備 仮説どおりの評価が得られるのか、コンセプトをチェックする 等			
	15	企画案のための「調査」のポイント		プリント準備 ターゲットが心惹かれる訴求ポイントが打ち出せているか 等			
	16	企画書を書き出そう		プリント / PC準備 通る企画書は最初の”つかみ”が肝心 / 卒業制作の企画書を考える 等			
	17			プリント / PC準備 背景、企画テーマ、全体構成の3つで、序論をつくろう 等			
	18			プリント / PC準備 背景状況説明の流れを受けて、企画テーマの揭示をしよう 等			
	19			プリント / PC準備 伝えたいポイントを受け手に復習させるための結論づくり 等			
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		商品企画Ⅰ		指導担当者名		大島 成也	
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験35年				実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義:		演習:○		実習:	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備					
授業外学習 の方法		授業内での配布資料の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	ビジュアルな企画書はこうつくる		プリント / PC準備 説得力のある企画書には、ビジュアル表現技術は欠かせない 等			
	2	ビジュアルな企画書はこうつくる		プリント / PC準備 企画書づくりに大切なコトバの表現技術を確認しておこう 等			
	3	ビジュアルな企画書はこうつくる		プリント / PC準備 マップを使って、企画の有望性をロジカルに表現しよう 等			
	4	パソコン活用の企画書づくり		プリント / PC準備 Power Pointでビジュアルな企画書づくりもこんなに簡単 等			
	5	パソコン活用の企画書づくり		プリント / PC準備 プレゼンテーションに便利なスライド一覧や発表者用資料 等			
	6	企画を通すプレゼンテーション		プリント / PC準備 綿密な準備がプレゼンテーションを成功させる 等			
	7	企画を通すプレゼンテーション		プリント / PC準備 見せ方次第で、プレゼンテーションの成功・不成功が決まる 等			
	8	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント / PC準備 情報収集 / 企画テーマづくり 等			
	9	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント / PC準備 企画案の作成 / 企画案の調査 等			
	10	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント / PC準備 企画書作成 等			
	11	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント / PC準備 企画書作成 等			
	12	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント / PC準備 企画書作成 等			
	13	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント / PC準備 企画書作成 / プレゼンテーション準備			
	14	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント / PC準備 企画書作成 / プレゼンテーション準備			
	15	プレゼンテーション		プリント / PC準備 発表			
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		パターンメイキングⅠ		指導担当者名		笹原 和加子	
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義:		演習:○		実習:	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・パターンメイキング技術検定3級取得を目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		テキスト 一般社団法人 日本ファッション教育振興協会 発行『 パターンメイキング技術検定3級ガイドブック 』					
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	パターンメイキング技能検定ガイダンス		パターンメイキング技能検定とは			
	2	パターンメイキング技能検定の内容		衣服製作のための用具			
	3	既製服の概念		既製服の基礎知識			
	4	既製服の概念		パターンメイキング用語			
	5	ファーストパターンメイキング		ファーストパターンメイキングとは 筆記科目			
	6	ファーストパターンメイキング		フラットパターンメイキングの基礎知識 理論・製図科目			
	7	ファーストパターンメイキング		フラットパターンメイキング実技1 身頃(縮尺) 理論・製図科目			
	8	ファーストパターンメイキング		フラットパターンメイキング実技2 えり(縮尺) 理論・製図科目			
	9	ファーストパターンメイキング		フラットパターンメイキング実技3 えり(縮尺) 理論・製図科目			
	10	ファーストパターンメイキング		フラットパターンメイキング実技4 スカート(縮尺) 理論・製図科目			
	11	ファーストパターンメイキング		フラットパターンメイキング実技(実寸) 実技科目			
	12	ドレーピングの基礎知識		理論・製図科目			
	13	ドレーピングの実技		実技科目			
	14	工業パターンメイキング		工業パターンメイキングとは、工業用パターンの記号 理論・製図科目			
	15	工業パターンメイキング		工業パターンメイキングの基礎知識 理論・製図科目			
	16	工業パターンメイキング		工業パターンメイキング技術 理論・製図科目			
	17	工業パターンメイキング		工業パターンメイキング技術 理論・製図科目			
	18	工業パターンメイキング		工業パターンメイキング技術 理論・製図科目			
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		パターンメイキングⅠ		指導担当者名		笹原 和加子			
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験： 有			
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年			
授業方法		講義：		演習：○		実習：		実技：	
時間数(通年)		90時間			週時間数		3時間		
学習到達目標		・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・パターンメイキング技術検定3級取得を目指す。							
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。							
使用教材		テキスト 一般社団法人 日本ファッション教育振興協会 発行『 パターンメイキング技術検定3級ガイドブック 』							
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。							
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等				
授 業 計 画 後 期	1	グレーディングとは			理論科目				
	2	グレーディング実技			実技				
	3	グレーディング実技			実技				
	4	グレーディング実技			実技				
	5	グレーディング実技			実技				
	6	素材			素材の知識				
	7	素材			理論・製図科目				
	8	素材			素材とファーストパターンメイキング				
	9	素材			理論・製図科目				
	10	検定対策			過去問対策				
	11	検定対策			過去問対策				
	12	検定対策			過去問対策				
	13	検定対策			過去問対策				
	14	検定対策			過去問対策				
	15	検定対策			過去問対策				
	16	検定対策			過去問対策				
	17	検定対策			過去問対策				
	18	検定対策			過去問対策				
	19	検定対策			過去問対策				
	20	検定対策			過去問対策				
履修上の留意点									
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

授業計画(シラバス)

科目名		デザイン画 I		指導担当者名		大島 成也	
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験35年				実務経験： 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義：		演習：○		実習：	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・ファッションデザイン画の基礎を習得する。 ・画材の使用方法を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」 ・水彩絵の具一式、コピック各種					
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	ファッション画の技法・デザイン画について		テキスト準備 オリテ・ヒアリング・動機づけ			
	2	画材の説明、トレーニング		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	3	絵の具		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	4	パステル		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	5	人体について		テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する			
	6	デッサン、クロッキー		テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する			
	7	プロポーション		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	8	ポーズ		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	9	デッサン、クロッキー		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	10	期末試験		デザイン画作成、提出			
	11	部分練習、着装画		テキスト、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	12	写真模写		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	13	デッサン、クロッキー		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	14	彩色デザイン画		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	15	基本着装		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 コーディネート含む			
	16	基本着装		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 デティール含む			
	17	デッサン、クロッキー		テキスト、コピック各種準備 着装相モデル			
	18	造形トレーニング		テキスト、コピック各種準備 着装相モデル			
	19	テーマ別創作デザイン		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方			
	20	期末試験		デザイン画作成、提出			
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		デザイン画 I		指導担当者名		大島 成也	
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験35年				実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義:		演習:○		実習:	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・ファッションデザイン画の基礎を習得する。 ・画材の使用方法を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」 ・水彩絵の具一式、コピック各種					
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	コンペ対策		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方			
	2	材質表現		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	3	写真の模写		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	4	自然をヒントに		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	5	自然をヒントに		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	6	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	7	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	8	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	9	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	10	省略画		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン			
	11	省略画		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン			
	12	省略画		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン			
	13	ディフォルメ化		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン			
	14	ディフォルメ化		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン			
	15	ディフォルメ化		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン			
	16	コンペ制作		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング			
	17	コンペ制作		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング			
	18	コンペ制作		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング			
	19	期末試験		デザイン画作成、提出			
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		修了制作		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		後期		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義：		演習：		実習：○ 実技：	
時間数(通年)		50時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・1年間で学習した各科目の知識・技術を活かし、自主制作を行う。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出物、プレゼンテーション等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		1年間で使用したテキスト / 道具一式					
授業外学習 の方法		ファッション業界全体の情報収集など。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	修了制作の概要 / 企画		情報収集/プランニング/企画考案 等			
	2	企画 / 制作準備		企画書作成/デザイン出し 等			
	3	デザイン画制作		デザイン画作成			
	4	デザイン画制作/制作準備		デザイン画作成/生地購入/パターン作図 等			
	5	中間チェック/パターン制作		中間チェック/生地購入/パターン作図 等			
	6	パターン制作		パターン作図/パターン作製 等			
	7	パターン制作		パターン作製			
	8	制作		衣装制作			
	9	制作		衣装制作			
	10	制作		衣装制作			
	11	中間チェック/制作		中間チェック/衣装制作			
	12	制作		衣装制作			
	13	制作		衣装制作			
	14	制作		衣装制作/プレゼンテーション資料制作			
	15	プレゼンテーション準備		プレゼンテーション資料作成(企画書をパワーポイントにて作成)			
	16	プレゼンテーション		プレゼンテーション 作品発表 資料提出 結果発表			
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		ITリテラシー		指導担当者名		舞木 克奈子	
実務経験						実務経験:	無
開講時期		前期		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義:○		演習:		実習:	
実技:							
時間数(通年)		45時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・ITリテラシー能力を習得し、ファッション業界での実務的な部分を身に付ける。 ・プレゼンテーション能力を養う。 ・MOS検定一般レベル取得を目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		テキスト FOM出版 「よくわかる Microsoft Word 2019 & Microsoft Excel 2019 & Microsoft PowerPoint 2019」 FOM出版 「よくわかるマスターMicrosoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト&問題集」					
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う例題(問題)の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	Excel		基本操作			
	2	Excel		データを入力しよう			
	3	Excel		表を作成しよう			
	4	Excel		グラフを作成しよう			
	5	Excel		データを分析しよう			
	6	検定対策		ワークシートやブックの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	7	検定対策		ワークシートやブックの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	8	検定対策		ワークシートやブックの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	9	検定対策		セルやセル範囲のデータの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	10	検定対策		セルやセル範囲のデータの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	11	検定対策		テーブルとテーブルのデータ管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	12	検定対策		テーブルとテーブルのデータ管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	13	検定対策		数式や関数を使用した演算の実行 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	14	検定対策		数式や関数を使用した演算の実行 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	15	検定対策		グラフの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	16	検定対策		グラフの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	17	検定対策		実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	18	検定対策		実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	19	検定対策		実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
	20	検定対策		実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」			
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		デジタルデザイン I		指導担当者名		熊田 裕太		
実務経験		グラフィックデザイナー 実務経験10年				実務経験:		有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年		
授業方法		講義:		演習:○		実習:		実技:
時間数(通年)		90時間			週時間数		3時間	
学習到達目標		・アパレル企画に必要な Illustratorの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト ウィネット 発行 「Illustratorクイックマスターの教科書」						
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行った操作の復習。						
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	基本操作編			Illustratorの基本操作			
	2	基本操作編			Illustratorの基本操作			
	3	基本操作編			オブジェクトの基本操作			
	4	基本操作編			オブジェクトの基本操作			
	5	基本操作編			カラー設定の基本			
	6	基本操作編			オブジェクト編集			
	7	基本操作編			文字編集の基本操作			
	8	基本操作編			パスの基本操作			
	9	基本操作編			パスの基本操作			
	10	応用操作編			オブジェクトの応用操作			
	11	応用操作編			オブジェクトの応用操作			
	12	応用操作編			カラー設定の応用操作			
	13	応用操作編			カラー設定の応用操作			
	14	応用操作編			文字編集の応用操作			
	15	応用操作編			文字編集の応用操作			
	16	応用操作編			文字編集の応用操作			
	17	応用操作編			文字編集の応用操作			
	18	応用操作編			文字編集の応用操作			
	19							
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		デジタルデザイン I		指導担当者名		熊田 裕太		
実務経験		グラフィックデザイナー 実務経験10年				実務経験:	有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年		
授業方法		講義:		演習:○		実習:		
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間		
学習到達目標		・アパレル企画に必要なIllustratorの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト ウィネット 発行 「Illustratorクイックマスターの教科書」						
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行った操作の復習。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授 業 計 画 後 期	1	応用操作編		パスの応用操作				
	2	コンテンツ制作編		パスの応用操作				
	3	コンテンツ制作編		イラストレーション				
	4	コンテンツ制作編		イラストレーション				
	5	コンテンツ制作編		ロゴマーク				
	6	コンテンツ制作編		ロゴマーク				
	7	コンテンツ制作編		Webデザイン				
	8	コンテンツ制作編		Webデザイン				
	9	コンテンツ制作編		グラフを作成				
	10	コンテンツ制作編		グラフを作成				
	11	コンテンツ制作編		印刷原稿の作成				
	12	コンテンツ制作編		印刷原稿の作成				
	13	コンテンツ制作編		印刷原稿の作成				
	14	コンテンツ制作編		印刷原稿の作成				
	15	コンテンツ制作編		印刷原稿の作成				
	16	コンテンツ制作編		印刷原稿の作成				
	17	コンテンツ制作編		印刷原稿の作成				
	18	コンテンツ制作編		印刷原稿の作成				
	19							
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション画		指導担当者名	大坂	
実務経験	デザイナー・イラストレーター 実務経験1年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	・コピックの技法や絵を学び、絵力を高める ・ファッションイラストを学びTシャツやグッズデザインに活かす ・創造力を高める				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	・コピック/コピックマーカー ・コピック専用スケッチブック				
授業外学習 の方法	ポートフォリオを作成する				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	自己紹介/授業内容/目的		
	2	コピック解説	使い方と注意点		
	3	コピック解説	塗り絵		
	4	アナログ実習	ファッションイラスト(食べ物編)		
	5	アナログ実習	実習発表		
	6	アナログ実習	ファッションイラスト(動物編)		
	7	アナログ実習	実習発表		
	8	アナログ実習	ファッションイラスト(金属・アクセサリ編)		
	9	アナログ実習	実習発表		
	10	アナログ実習	ファッションイラスト(ブランドファッション編)		
	11	アナログ実習	実習発表		
	12	アナログ実習	イベントグッズデザイン		
	13	前期期末課題	期末課題提出(イベントグッズデザイン)		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション画		指導担当者名	大坂	
実務経験	デザイナー・イラストレーター 実務経験1年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	・コピックの技法や絵を学び、絵力を高める ・ファッションイラストを学びTシャツやグッズデザインに活かす ・創造力を高める				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	・コピック/コピックマーカー・コピック専用スケッチブック				
授業外学習 の方法	ポートフォリオを作成する				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	ファッション画制作	デザイン構成		
	2	ファッション画制作	ファッション画作品製作		
	3	ファッション画制作	ファッション画作品製作		
	4	ファッション画制作	ファッション画作品製作		
	5	ファッション画制作	ファッション画作品製作		
	6	卒修展作品制作	デザイン構成		
	7	卒修展作品制作	卒修展作品制作		
	8	卒修展作品制作	卒修展作品制作		
	9	卒修展作品制作	卒修展作品制作		
	10	卒修展作品制作	卒修展作品制作		
	11	後期期末課題	卒修展作品完成・発表		
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		素材学		指導担当者名		笹原 和加子	
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験：有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：実技：	
時間数(通年)		30時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		・アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせる。 ・衣服の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎知識を習得する。 ・綿、毛、絹織物の種類に関して、教材を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ理解を図る。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		・文化ファッション大系 服飾関連専門講座3 アパレル素材論 ・表生地標本					
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	アパレルと素材		人間の生活路繊維/ファッションとアパレル/アパレル産業の流通経路			
	2	アパレルと素材		アパレルと素材企画			
	3	繊維		繊維とは/繊維の分類/天然繊維と化学繊維			
	4	糸		糸の歴史と発達/糸とは/糸のできるまで			
	5	糸		紡績糸とフィラメント糸の種類/糸の構造/その他の糸			
	6	布地		布地/織物①			
	7	布地		織物②			
	8	布地		織物③			
	9	布地		織物④			
	10	布地		織物⑤			
	11	布地		織物⑥			
	12	布地		織物⑦			
	13	布地		織物⑧			
	14	布地		織物⑨			
	15	布地		織物⑩			
	16	布地		ニット			
	17	布地		その他の布地			
	18	前期期末テスト		筆記テスト			
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		素材学		指導担当者名		笹原 和加子	
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験： 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科1年	
授業方法		講義：○		演習：		実習： 実技：	
時間数(通年)		30時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		・アパレル製品や各自制作物の素材に関心を持たせる。 ・衣服の構成要素である繊維、糸、布地の種類や特徴についての基礎知識を習得する。 ・綿、毛、絹織物の種類に関して、教材を活用しながら、糸の構造や織物組織などの特徴に着目させ理解を図る。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		・文化ファッション大系 服飾関連専門講座3 アパレル素材論 ・表生地標本					
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	仕上げ加工		布地の仕上げ加工の目的			
	2	仕上げ加工		繊維別仕上げ加工①			
	3	仕上げ加工		繊維別仕上げ加工②			
	4	仕上げ加工		目的別仕上げ加工			
	5	その他のアパレル素材		天然皮革			
	6	その他のアパレル素材		人造皮革			
	7	その他のアパレル素材		毛皮			
	8	その他のアパレル素材		人口毛皮			
	9	その他のアパレル素材		羽毛			
	10	その他のアパレル素材		合成樹脂(プラスチック)			
	11	その他のアパレル素材		ゴム			
	12	その他のアパレル素材		裏地と芯地			
	13	その他のアパレル素材		副資材			
	14	その他のアパレル素材		縫い糸			
	15	後期期末テスト		筆記テスト			
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		実践行動学Ⅱ（就職実務含む）		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
実技：							
時間数（通年）		30時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		・就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。					
評価方法 評価基準		・授業態度・提出物・活動状況など。					
使用教材		SUCCESS					
授業外学習の方法		・この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	オリエンテーション		ファッション・アパレル業界の就職活動について			
	2	就職活動の準備とスタート①		就職活動の心構え/就職活動の流れ/スケジュール/ポートフォリオについて			
	3	就職活動の準備とスタート②		就職活動ツールの紹介と登録(マイナビ・リクナビ・レディチューファッション・マッチジョブ等			
	4	自分と職業を理解する①		業種と職種について/企業検索			
	5	自分と職業を理解する②		自己分析			
	6	自分と職業を理解する③		自己PR作成			
	7	情報収集・企業検索①		情報収集のポイント/企業研究のポイント			
	8	情報収集・企業検索②		志望動機作成			
	9	作成書類①		履歴書/エントリーシートについて			
	10	作成書類②		履歴書の作成			
	11	作成書類③(前期期末課題提出)		履歴書の提出、ポートフォリオの途中チェック			
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		実践行動学Ⅱ（就職実務含む）		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
実技：							
時間数（通年）		30時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		・就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。					
評価方法 評価基準		・授業態度・提出物・活動状況など。					
使用教材		SUCCESS					
授業外学習の方法		・この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	就職試験（面接試験）①		就職試験のマナー／形式／受け答え／入退室			
	2	就職試験（面接試験）②		面接試験練習（模擬面接に向けた）①			
	3	就職試験（面接試験）③		面接試験練習（模擬面接に向けた）②			
	4	就職試験（面接試験）④		模擬面接			
	5	就職試験（集団面接）①		集団面接のポイント			
	6	就職試験（集団面接）②		集団面接練習			
	7	就職試験（グループディスカッション）①		グループディスカッションのポイントと役割について			
	8	就職試験（グループディスカッション）②		グループディスカッション練習			
	9	就職試験（グループディスカッション）③（後期期末テスト）		グループディスカッション実践			
	10	進級後の就職活動について		今後の課題／取り組み／スケジュール			
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80％に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		ファッション学Ⅱ		指導担当者名		舞木 克奈子		
実務経験		アパレル企業実務経験9年				実務経験:	有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年		
授業方法		講義:◎		演習:○		実習:○		実技:
時間数(通年)		60時間		週時間数		2時間		
学習到達目標		・戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」						
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授 業 計 画 前 期	1	第5章 ファッション商品知識		テキスト準備 シャツ / ブラウス / ワンピース 等				
	2	第5章 ファッション商品知識		テキスト準備 ジャケット / コート / 帽子 等				
	3	第6章 ファッションビジネス		テキスト準備 マーチャンダイジングの定義 等				
	4	第6章 ファッションビジネス		テキスト準備 市場調査 / ショップリサーチの実例 等				
	5	第6章 ファッションビジネス		テキスト準備 マーケットセグメンテーション 等				
	6	第7章 ファッションショー		テキスト準備 ショーの目的 / ショーの会場と形態 / 舞台案 / 企画のポイント 等				
	7	第7章 ファッションショー		テキスト準備 コンセプト分析 / イメージ分析 / デザインの具体化 等				
	8	第7章 ファッションショー		テキスト準備 イメージとデザイン画 / モデル / プレス担当 等				
	9	第8章 ファッション心理学		テキスト準備 ファッション心理学とは 等				
	10	第9章 ファッションの専門用語		テキスト準備 アースカラー / アールデコ / アイコンショップ 等				
	11	第10章 ビジネスマナーの基本知識		テキスト準備 身だしなみ / ヘアスタイルとメイクアップ 等				
	12	実践編		ディスプレイ授業				
	13	実践編		ディスプレイ授業				
	14	実践編		ディスプレイ授業				
	15	実践編		ディスプレイ授業				
	16	ファッション映画について		ファッション映画鑑賞・レポート				
	17	ファッション映画について		ファッション映画鑑賞・レポート				
	18	期末試験		テスト問題準備				
	19	期末試験フィードバック		テスト問題準備				
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		ファッション学Ⅱ		指導担当者名		舞木 克奈子		
実務経験		アパレル企業実務経験9年					実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年		
授業方法		講義:◎		演習:○		実習:○		実技:
時間数(通年)		60時間		週時間数		2時間		
学習到達目標		・戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」						
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。						
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	時代のファッションアイコンについて			レポート作成			
	2	時代のファッションアイコンについて			グループディスカッション			
	3	ファッションとSNSについて			SNS市場調査			
	4	ファッションとSNSについて			SNS市場調査			
	5	ファッションとSNSについて			レポート作成			
	6	ファッションとSNSについて			プレゼンテーション			
	7	ブランド調査			モードエモード・WEB・市場調査			
	8	ブランド調査			ブランドの歴史について			
	9	ブランド調査			ブランドデザイナーについて			
	10	ブランド調査			マップ作成			
	11	ブランド調査			マップ作成			
	12	ブランド調査			プレゼンテーション			
	13	ファッション映画について			ファッション映画鑑賞・レポート			
	14	ファッション映画について			ファッション映画鑑賞・レポート			
	15	ニュアンスコーデ・ドレスコードDAY			ニュアンスコーディネート・ドレスコードについてレポート			
	16	ニュアンスコーデ・ドレスコードDAY			ニュアンスコーディネート・ドレスコードについてレポート			
	17	期末試験			テスト問題準備			
	18	期末試験フィードバック			テスト問題準備			
	19							
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		修了制作		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		後期		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義：		演習：		実習：○ 実技：	
時間数(通年)		60時間		週時間数			
学習到達目標		・2年間で学習した各科目の知識・技術を活かし、自主制作を行う。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出物、プレゼンテーション等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		1年間で使用したテキスト / 道具一式					
授業外学習 の方法		ファッション業界全体の情報収集など。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	修了制作の概要 / 企画		情報収集/プランニング/企画考案 等			
	2	企画 / 制作準備		企画書作成/デザイン出し 等			
	3	デザイン画制作		デザイン画作成			
	4	デザイン画制作/制作準備		デザイン画作成/生地購入/パターン作図 等			
	5	中間チェック/パターン制作		中間チェック/生地購入/パターン作図 等			
	6	パターン制作		パターン作図/パターン作製 等			
	7	パターン制作		パターン作製			
	8	制作		衣装制作			
	9	制作		衣装制作			
	10	制作		衣装制作			
	11	中間チェック/制作		中間チェック/衣装制作			
	12	制作		衣装制作			
	13	制作		衣装制作			
	14	制作		衣装制作/プレゼンテーション資料制作			
	15	プレゼンテーション準備		プレゼンテーション資料作成(企画書をパワーポイントにて作成)			
	16	プレゼンテーション		プレゼンテーション 作品発表 資料提出 結果発表			
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		商品企画Ⅱ		指導担当者名		大島 成也			
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験35年				実務経験:	有		
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年			
授業方法		講義:		演習:○		実習:		実技:	
時間数(通年)		90時間			週時間数		3時間		
学習到達目標		・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。							
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。							
使用教材		参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備							
授業外学習 の方法		授業内での配布資料の復習。							
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等				
授業計画 前期	1	ブランドとは何か			プリント準備 ブランドとは				
	2	ブランドとは何か			プリント準備 ブランドとは				
	3	ブランドとは何か			プリント準備 ブランドの構成要素				
	4	ブランドとは何か			プリント準備 ブランドの構成要素				
	5	ブランドとは何か			プリント準備 ブランディングとは何か				
	6	ブランドとは何か			プリント準備 ブランディングとは何か				
	7	ブランドとは何か			プリント準備 ブランディング種類				
	8	ブランドとは何か			プリント準備 ブランディングの現場から ブランディングとリサーチ				
	9	立脚点を揃える			ブランディングに対する誤解				
	10	立脚点を揃える			ブランディングの現場から① ブランディング×プロジェクト				
	11	環境変化を捉える			世の中の連動を捉える:PEST分析				
	12	環境変化を捉える			世の中の連動を捉える:PEST分析				
	13	環境変化を捉える			市場の機会を見出す:3C分析				
	14	環境変化を捉える			市場の機会を見出す:3C分析				
	15	環境変化を捉える			市場の機会を見出す:3C分析				
	16	環境変化を捉える			ブランディングの現場から②				
	17	期末テストフィードバック			テスト問題準備				
	18	期末テストフィードバック			テスト問題準備				
	19								
	20								
履修上の留意点									
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

授業計画(シラバス)

科目名		商品企画Ⅱ		指導担当者名		大島 成也	
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験35年				実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義:		演習:○		実習:	
実技:							
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備					
授業外学習 の方法		授業内での配布資料の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	ブランド戦略を策定する		プリント準備 世の中の機運を捉える:PEST分析			
	2	ブランド戦略を策定する		プリント準備			
	3	ブランド戦略を策定する		プリント準備 市場の機会を見出す:3C分析			
	4	パソコン活用の企画書づくり		プリント準備			
	5	パソコン活用の企画書づくり		プリント準備 ブランディングの現場 ブランディング×分析			
	6	企画を通すプレゼンテーション		プリント準備			
	7	企画を通すプレゼンテーション		プリント準備 ブランドのアイデンティティを策定する			
	8	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント準備 ブランド提供価値を設定する			
	9	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント準備 知覚品質を設定する			
	10	卒業制作の企画書を作成してみよう		プリント準備 ブランドパーソナリティを設定する			
	11	評価指標を設定する		プリント準備 ブランドエクイティを理解する			
	12	評価指標を設定する		プリント準備 KPIとは? KPIの設定方法とKPI/KGI指標			
	13	評価指標を設定する		ブランディングとワークショップ			
	14	STP戦略を策定する		セグメンテーション:消費者や市場を分類する			
	15	STP戦略を策定する		ターゲティング:有望なターゲットを設定			
	16	期末テスト		テスト問題準備			
	17	期末テストフィードバック		テスト問題準備			
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザインⅡ		指導担当者名	熊田 裕太	
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	アパレル・ファッション業界でマルチに活躍できる人材を目指し、IllustratorやPhotoshopを学びデジタルスキルを身に付ける。デジタルデザイン力を伸ばし、ファッションデザインや商品企画に活かす。				
評価方法 評価基準	ポートフォリオを作成。クオリティとプレゼンテーションを確認し、評価を行う。				
使用教材	PC・Adobe (Illustrator・Photoshop・Acrobat等)				
授業外学習 の方法	授業内で出された課題を仕上げる				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	評価基準・構想・今後の取り組み・製作イメージの構築(参考事例紹介・ラフ案作成)		
	2	スキャン・切り抜き・データの作成	スキャニング・切り抜き・パスデータの作成		
	3	ロゴ(マーク・タイプ)の作成①	ラフ案からスキャニングし、パスデータの作成		
	4	ロゴ(マーク・タイプ)の作成②	ロゴマークを作成・調整		
	5	名刺作成	作成したロゴを取り入れ、名刺を作成する		
	6	ショップカード作成	画像・地図・QRを取り入れながら作成していく		
	7	DM作成	お客様にDMを送るためのポストカードを作成する		
	8	POP作成①	A4サイズにて商品紹介のチラシ作成		
	9	POP作成②	A4サイズにて商品紹介のチラシ作成		
	10	デザイン調整・提出(前期期末課題)	ロゴ・名刺・ショップカード・DM・POPを提出		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザインⅡ		指導担当者名	熊田 裕太	
実務経験	グラフィックデザイナー 実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	アパレル・ファッション業界でマルチに活躍できる人材を目指し、IllustratorやPhotoshopを学びデジタルスキルを身に付ける。デジタルデザイン力を伸ばし、ファッションデザインや商品企画に活かす。				
評価方法 評価基準	ポートフォリオを作成。クオリティとプレゼンテーションを確認し、評価を行う。				
使用教材	PC・Adobe (Illustrator・Photoshop・Acrobat等)				
授業外学習 の方法	授業内で出された課題を仕上げる				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	SNS (Instagram) 向け画像作成①	アイコン・ストーリーズ・フィード用の画像作成		
	2	SNS (Instagram) 向け画像作成②	アイコン・ストーリーズ・フィード用の画像作成		
	3	SNS・WEB向けバナー画像作成①	広告宣伝を見据えて指定サイズで画像作成		
	4	SNS・WEB向けバナー画像作成②	広告宣伝を見据えて指定サイズで画像作成		
	5	パッケージ作成①	紙袋・ギフト向け梱包材などの作成		
	6	パッケージ作成②	紙袋・ギフト向け梱包材などの作成		
	7	ノベルティーの作成	お客様に配布する商材を決めて作成		
	8	ポートフォリオの作成①	最終発表に向けたポートフォリオの作成		
	9	ポートフォリオの作成②	最終発表に向けたポートフォリオの作成		
	10	ポートフォリオの作成③	最終発表に向けたポートフォリオの作成		
	11	ポートフォリオ提出・プレゼンテーション(後期期末テスト)	1名10分でポートフォリオの発表を行う		
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		ファッションビジネス論Ⅰ		指導担当者名		舞木 克奈子	
実務経験		アパレル企業実務経験9年				実務経験： 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義： ○		演習：		実習：	
実技：							
時間数(通年)		60時間		週時間数		2時間	
学習到達目標		・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定3級取得を目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		テキスト 一般社団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス[Ⅰ]」、授業時間内の資料配布					
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	第1章 ファッションビジネスの概要		テキスト準備 1.ファッション、デザインの定義と特性			
	2	第1章 ファッションビジネスの概要		テキスト準備 2.衣服とアパレルデザインの基礎知識、3.繊維とアパレル基礎知識			
	3	繊維ファッション産業の流れ		テキスト準備 繊維ファッション産業の流れ 等			
	4	繊維について		県内特有の繊維(川俣シルク)とは			
	5	課外授業		繊維工場の見学 / 織物体験(川俣シルク) / レポート作成・提出			
	6	第1章 例題(練習問題)		テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説			
	7	第2章 ファッション消費と消費者行動		テキスト準備 消費者行動とファッション表現 等			
	8	ライフスタイルとファッション		テキスト準備 ライフスタイルとは 等			
	9	お客様の購買行動		テキスト準備 お客様・顧客 / 購買行動 等			
	10	第2章 例題(練習問題)		テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説			
	11	第2章 例題(練習問題)		テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説			
	12	第3章 アパレル産業と小売産業		テキスト準備 アパレル産業の概要 等			
	13	第3章 アパレル産業と小売産業		テキスト準備 アパレル産業の概要 等			
	14	ファッション小売産業の概要		テキスト準備 小売企業とは / 百貨店 / 量販店 / 専門店 等			
	15	ファッション小売産業の概要		テキスト準備 小売企業とは / 百貨店 / 量販店 / 専門店 等			
	16	前試験範囲の復習 / 前期試験		テキスト / 試験問題 準備			
	17	試験フィードバック/第3章 例題(練習問題)		テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説			
	18	期末試験		テキスト / 試験問題 準備			
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		ファッションビジネス論Ⅰ		指導担当者名		舞木 克奈子	
実務経験		アパレル企業実務経験9年				実務経験： 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義： ○		演習：		実習：	
実技：							
時間数(通年)		60時間		週時間数		2時間	
学習到達目標		・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定3級取得を目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス〔Ⅰ〕」、授業時間内の資料配布					
授業外学習の方法		テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	第1章 ファッションビジネスの概要		テキスト準備 1.ファッション、デザインの定義と特性			
	2	第1章 ファッションビジネスの概要		テキスト準備 2.衣服とアパレルデザインの基礎知識、3.繊維とアパレル基礎知識			
	3	第2章 ファッションコーディネート		テキスト準備 1.コーディネートの基礎知識、2.ファッションスタイリング			
	4	第2章 ファッションコーディネート		テキスト準備 3.ビジネスにおけるスタイリング提案、4.ディスプレイ知識			
	5	第3章 ファッション商品知識		テキスト準備 1.アパレルアイテムの知識			
	6	第3章 ファッション商品知識		テキスト準備 2.シルエットの知識、3.ディテールの知識			
	7	第3章 ファッション商品知識		テキスト準備 4.品質・品質表示の知識、5.サイズの知識			
	8	第3章 ファッション商品知識		テキスト準備 6.繊維・糸の知識、7.織物の知識			
	9	第3章 ファッション商品知識		テキスト準備 8.染色の知識、9.ニットの知識			
	10	第4章 ファッションデザイン		テキスト準備 1.デザイン画と製品図の理解、2.デザインと機能			
	11	第4章 ファッションデザイン		テキスト準備 3.色彩基礎知識、4.柄の知識			
	12	第5章 ファッション・エンジニアリング		テキスト準備 1.服飾造形に関する基礎知識			
	13	第5章 ファッション・エンジニアリング		テキスト準備 2.パターンに関する基礎知識、3.アパレル製造の基礎知識			
	14	後期試験		テキスト / 試験問題 準備			
	15	過去問対策		テキスト / 試験問題 準備			
	16	過去問対策		テキスト / 試験問題 準備			
	17	過去問対策		テキスト / 試験問題 準備			
	18	過去問対策		テキスト / 試験問題 準備			
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		スタイリングマップ I		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
実技：							
時間数(通年)		30時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		日本ファッションスタイリスト協会 StylingMap トータルスタイリスト検定ジュニアレベル取得 スタイリングの基礎知識の習得。お客様やクライアントの「なりたい」をかなえるスタイリング提案ができるレベルを目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		日本ファッションスタイリスト協会 スタイリングの教科書/検定対策テキスト/e-learning					
授業外学習 の方法		e-learningを使用した自宅学習					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	スタイリングを知ろう①		はじめに/第1章 PART1 「スタイリングって何？」教科書p13～24			
	2	スタイリングを知ろう②		第1章 PART2 「スタイリングマップって何？」教科書p25～34			
	3	物の個性を知ろう①		第2章 PART1 「色の個性を知ろう」教科書p37～58			
	4	物の個性を知ろう②		第2章 PART2 「形の個性を知ろう」教科書p59～80			
	5	物の個性を知ろう③		第2章 PART3 「素材の個性を知ろう」教科書p81～100			
	6	物の個性を知ろう④		第2章 PART4 「スタイリングマップを使ってスタイリングしよう」教科書p101～114			
	7	人と物をスタイリングしよう①		第3章 PART1 「人の個性を見る方法を知ろう」教科書p117～134			
	8	人と物をスタイリングしよう②		第3章 PART2 「人と物のスタイリングテクニックを知ろう」教科書p135～142			
	9	コミュニケーションタイプを知ろう①		第4章 「コミュニケーションタイプを知ろう」教科書p144			
	10	コミュニケーションタイプを知ろう②		第4章 「クールゾーン・ウォームゾーン」教科書p145～146			
	11	コミュニケーションタイプを知ろう③		第4章 「ライトゾーン・ディープゾーン」教科書p147～148			
	12	コミュニケーションタイプを知ろう④		第4章 「アクアティストタイプ・ブライトタイプ」教科書p152～154			
	13	コミュニケーションタイプを知ろう⑤		第4章 「クリスタルティストタイプ・アースティストタイプ」教科書p156～158			
	14	コミュニケーションタイプを知ろう⑥		第4章 「コントラストゾーン・グラデーションゾーン」教科書p149～150			
	15	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	16	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	17	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	18	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	19	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	20	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		スタイリングマップ I		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
時間数(通年)		30時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		日本ファッションスタイリスト協会 StylingMap トータルスタイリスト検定ジュニアレベル取得 スタイリングの基礎知識の習得。お客様やクライアントの「なりたい」をかなえるスタイリング提案ができるレベルを目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		日本ファッションスタイリスト協会 スタイリングの教科書/検定対策テキスト/e-learning					
授業外学習 の方法		e-learningを使用した自宅学習					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	2	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	3	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	4	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	5	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	6	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	7	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	8	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	9	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	10	検定対策		検定対策ノート(ジュニアレベル)			
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		【FDコース】デザイン画Ⅱ		指導担当者名		大島 成也			
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験35年				実務経験： 有			
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年			
授業方法		講義：		演習：○		実習：		実技：	
時間数(通年)		90時間(コース時間合計450時間)			週時間数		3時間		
学習到達目標		・ファッションデザイン画の基礎から応用を習得する。 ・画材の使用方法的の復習、応用を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。							
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。							
使用教材		・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、 ・水彩絵の具一式、コピック各種、配布資料 プリント準備							
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。							
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等				
授 業 計 画 前 期	1	ファッション画の技法・デザイン画について			テキスト準備 オリテ・ヒアリング・動機づけ				
	2	画材の説明、トレーニング			テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	3	絵の具			テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	4	パステル			テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	5	人体について			テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する				
	6	デッサン、クロッキー			テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する				
	7	プロポーション			テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	8	ポーズ			テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	9	デッサン、クロッキー			テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	10	確認テスト			デザイン画作成、提出				
	11	部分練習、着装画			テキスト、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	12	写真模写			テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	13	デッサン、クロッキー			テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	14	彩色デザイン画			テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	15	基本着装			テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 コーディネート含む				
	16	基本着装			テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 デティール含む				
	17	デッサン、クロッキー			テキスト、コピック各種準備 着装相モデル				
	18	造形トレーニング			テキスト、コピック各種準備 着装相モデル				
	19	テーマ別創作デザイン			テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方				
	20	期末試験			デザイン画作成、提出				
履修上の留意点									
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

授業計画(シラバス)

科目名		【FDコース】デザイン画Ⅱ		指導担当者名		大島 成也		
実務経験		ファッションデザイナー 実務経35年				実務経験:	有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年		
授業方法		講義:		演習:○		実習:		実技:
時間数(通年)		90時間(コース時間合計450時間)		週時間数		3時間		
学習到達目標		・ファッションデザイン画の基礎から応用を習得する。 ・画材の使用方法的の復習、応用を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、 ・水彩絵の具一式、コピック各種、配布資料 プリント準備						
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授業計画 後期	1	材質表現		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	2	材質表現		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	3	写真の模写		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	4	自然をヒントに		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	5	自然をヒントに		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	6	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	7	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	8	省略画		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン				
	9	ディフォルメ化		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 抽象画レッスン				
	10	コンペ対策		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング				
	11	コンペ対策		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング				
	12	コンペ対策		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング				
	13	コンペ対策		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング				
	14	コンペ対策		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング				
	15	コンペ対策		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 テーマ別発想トレーニング				
	16	期末試験		デザイン画作成、提出				
	17							
	18							
	19							
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		【FDコース】パターンメイキングⅡ		指導担当者名		笹原 和加子		
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験:	有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年		
授業方法		講義:		演習:○		実習:		実技:
時間数(通年)		135時間(コース時間合計450時間)		週時間数		3時間		
学習到達目標		・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック」 テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級試験問題 解答・解説集」						
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授 業 計 画 前 期	1	アパレル企業のパターンメイキング		テキスト準備				
	2	人体とパターンメイキング		テキスト準備				
	3	フラットパターンメイキング(平面製図)の知識		テキスト準備				
	4	フラットパターンメイキング(平面展開)の知識		テキスト準備				
	5	ドレーピングの知識		テキスト準備				
	6	工業用パターンメイキングの知識		テキスト準備				
	7	グレーディングの知識		テキスト準備				
	8	グレーディングとアパレルCAD		テキスト準備				
	9	マーキングと書類の知識		テキスト準備				
	10	素材の知識		テキスト準備				
	11	筆記検定対策		過去問用意				
	12	筆記検定対策		過去問用意				
	13	筆記検定対策		過去問用意				
	14	筆記検定対策		過去問用意				
	15	筆記検定対策		過去問用意				
	16	筆記検定対策		過去問用意				
	17	筆記検定対策		過去問用意				
	18	筆記検定対策		過去問用意				
	19	デザイン展開と作図・パターン展開		テキスト準備 (オリジナル作成)				
	20	デザイン展開と作図・パターン展開		テキスト準備 (オリジナル作成)				
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		【FDコース】パターンメイキングⅡ		指導担当者名		笹原 和加子		
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験:	有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年		
授業方法		講義:		演習:○		実習:		実技:
時間数(通年)		135時間(コース時間合計450時間)		週時間数		3時間		
学習到達目標		・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック」 テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級試験問題 解答・解説集」						
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授 業 計 画 後 期	1	素材の知識		テキスト準備				
	2	素材とファーストパターンメイキング		テキスト準備				
	3	素材とサンプルチェック		テキスト準備				
	4	素材と工業用パターン		テキスト準備				
	5	実技試験対策		過去問用意				
	6	実技試験対策		過去問用意				
	7	実技試験対策		過去問用意				
	8	実技試験対策		過去問用意				
	9	実技試験対策		過去問用意				
	10	実技試験対策		過去問用意				
	11	実技試験対策		過去問用意				
	12	実技試験対策		過去問用意				
	13	実技試験対策		過去問用意				
	14	実技試験対策		過去問用意				
	15	実技試験対策		過去問用意				
	16	ジャケット制作		テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得				
	17	ジャケット制作		テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得				
	18	ジャケット制作		テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得				
	19	ジャケット制作		提出確認				
	20	ジャケット制作		課題提出				
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		【FDコース】ハンドクラフト		指導担当者名		末廣 景子			
実務経験		縫製師・縫製技術者 実務経験24年				実務経験： 有			
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年			
授業方法		講義：		演習：○		実習：		実技：	
時間数(通年)		90時間(コース時間合計450時間)			週時間数		3時間		
学習到達目標		服飾全般における基礎知識及び技術を習得し、それを基に素材・テクニク色の組み合わせなどで様々な応用発展させ、クリエイティブな力を養うことを目標とする。							
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。							
使用教材		文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸							
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内容の復習。							
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等				
授業計画 前期	1	オリエンテーション			自己紹介・講師紹介・授業内容・目的・評価方法・授業ルール				
	2	手芸の返還/手芸のデザイン			手芸についての知識を学ぶ				
	3	エンブroidアリー			1 カラーエンブroidアリー				
	4	エンブroidアリー			2 ゴールドエンブroidアリー				
	5	エンブroidアリー			3 キャンバスワーク				
	6	エンブroidアリー			4 カットワーク				
	7	エンブroidアリー			5 ドロンワーク				
	8	エンブroidアリー			6 ニードルウェービング				
	9	エンブroidアリー			7 アップリケ				
	10	エンブroidアリー			8 スモッキング				
	11	エンブroidアリー			9 シャーリング・ピンキング				
	12	エンブroidアリー			10 コードエンブroidアリー				
	13	エンブroidアリー			11 ビーズ・スパンクルワーク				
	14	前期期末テスト			作品提出				
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
履修上の留意点									
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。									

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】ハンドクラフト		指導担当者名	末廣 景子	
実務経験	縫製師・縫製技術者 実務経験24年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(コース時間合計450時間)		週時間数	3時間	
学習到達目標	服飾全般における基礎知識及び技術を習得し、それを基に素材・テクニック色の組み合わせなどで様々な応用発展させ、クリエイティブな力を養うことを目標とする。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内容の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	エンブロダイアリー	13 ミラーワーク		
	2	エンブロダイアリー	14 キルティング		
	3	エンブロダイアリー	15 ファゴティング		
	4	レース	1 ニードルポイントレース		
	5	レース	2 ボビンレース		
	6	レース	3 クロッシェレース		
	7	レース	4 ヘアピンレース		
	8	レース	5 テネリーフレース		
	9	レース	6 マクラメレース		
	10	アートフラワー	アートフラワー		
	11	後期期末テスト	作品提出		
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		【FDコース】アパレルマーケティングⅡ		指導担当者名		笹原 和加子			
実務経験		パターンナー 実務経験22年				実務経験： 有			
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年			
授業方法		講義：		演習：○		実習：		実技：	
時間数(通年)		135時間(コース時間合計450時間)			週時間数		3時間		
学習到達目標		・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。							
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。							
使用教材		・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形講座「工業パターンマーケティング」』							
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。							
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等				
授 業 計 画 前 期	1	アパレル企業におけるパターンマーケティング			アパレル企業の構造、パターンメーカーの業務、CAD				
	2	基礎知識			工業用ボディについて、パターンマーケティングの基礎				
	3	基礎知識			用具、ボディのガイドラインの位置と入れ方				
	4	基礎知識			トワルの種類と準備				
	5	基礎知識			基本テクニック(ピンの打ち方、縫い代切込み、マーキング)				
	6	基礎知識			基本テクニック(ピドラフティングとパターンチェック、縫い代つけ方)				
	7	原型			ドレス原型				
	8	原型			ブランド原型				
	9	原型			シルエット原型 プリンセスライン原型				
	10	原型			シルエット原型 ブラウス原型				
	11	原型			シルエット原型 ジャケット原型 3面構成のジャケット原型				
	12	原型			シルエット原型 ジャケット原型 4面構成のジャケット原型				
	13	原型			シルエット原型 ジャケット原型 5面構成のジャケット原型				
	14	基本アイテムのパターンマーケティング			ジャケット 3面構成のジャケット				
	15	基本アイテムのパターンマーケティング			ジャケット 3面構成のジャケット				
	16	基本アイテムのパターンマーケティング			ジャケット 3面構成のジャケット				
	17	基本アイテムのパターンマーケティング			ジャケット 3面構成のジャケット				
	18	基本アイテムのパターンマーケティング			ジャケット 3面構成のジャケット				
	19	期末テスト							
	20								
履修上の留意点									
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

授業計画(シラバス)

科目名		【FDコース】アパレルメーキングⅡ		指導担当者名		笹原 和加子	
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験： 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義：		演習：○		実習： 実技：	
時間数(通年)		135時間(コース時間合計450時間)		週時間数		3時間	
学習到達目標		・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形講座「工業パターンメーキング」』					
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	基本アイテムのパターンメーキング		ジャケット 4面構成のジャケット			
	2	基本アイテムのパターンメーキング		ジャケット 4面構成のジャケット			
	3	基本アイテムのパターンメーキング		ワンピースドレス			
	4	基本アイテムのパターンメーキング		ワンピースドレス			
	5	基本アイテムのパターンメーキング		ワンピースドレス			
	6	基本アイテムのパターンメーキング		ワンピースドレス			
	7	基本アイテムのパターンメーキング		ワンピースドレス			
	8	基本アイテムのパターンメーキング		ワンピースドレス			
	9	基本アイテムのパターンメーキング		ワンピースドレス			
	10	オリジナル制作		縫製確認			
	11	オリジナル制作		縫製確認			
	12	オリジナル制作		縫製確認			
	13	オリジナル制作		縫製確認			
	14	オリジナル制作		縫製確認			
	15	オリジナル制作		縫製確認			
	16	オリジナル制作		縫製確認			
	17	オリジナル制作		縫製確認			
	18	オリジナル制作		縫製確認			
	19	オリジナル制作		縫製確認			
	20	提出		提出確認			
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		【ECコース】WEBマーケティング		指導担当者名		大川 翔			
実務経験		WEBマーケティング企画 実務経験3年				実務経験:		有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科3年			
授業方法		講義:○		演習:		実習:		実技:	
時間数(通年)		90時間(コース時間合計450時間)			週時間数		3時間		
学習到達目標		・WEBマーケティングの基礎から実践までを一貫して学び、実務で活かせる力を養う。							
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。							
使用教材		・配布資料や参考文献 ・モニター使用							
授業外学習 の方法		・授業内容の復習やまとめ							
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等				
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション			自己紹介/評価方法/授業ルール/授業全体図と目標				
	2	WEBマーケティング概論			WEBマーケティングとは/ファッション業界におけるWEBマーケティングの重要性				
	3	デジタルマーケティングの基礎			従来型マーケティングとの違い/顧客ジャーニーとタッチポイント/ペルソナ設定方法				
	4	グループワーク			自分たちのターゲット顧客のペルソナ作成				
	5	WEBサイト分析と設計			ユーザビリティの日本原則/UVUXデザインの重要性/高機能ファッションECサイト状況				
	6	グループワーク			好きなファッションサイトの分析とフィードバック				
	7	コンテンツマーケティング			コンテンツマーケティング/ファッション業界に効果的なコンテンツ/SEOの基礎				
	8	グループワーク			ブランドストーリー作成				
	9	SNSマーケティング基礎			各SNSプラットフォームの特性/業界に最適なSNS選び/効果的なSNS運用ポイント				
	10	グループワーク			SNS運用プラン作成				
	11	インフルエンサーマーケティング			インフルエンサーマーケティングの基礎/業界におけるインフルエンサーの活用				
	12	グループワーク			架空のインフルエンサーキャンペーンの立案				
	13	リテイング広告とディスプレイ広告			PPC広告の仕組み/Google広告の基礎知識/バナー広告の種類と効果				
	14	グループワーク			ファッションブランドの広告計画				
	15	動画マーケとビジュアルコンテンツ			YouTube、Instagramリールなどの動画プラットフォーム活用/業界における動画コンテンツ				
	16	グループワーク			15秒PRビデオ企画立案				
	17	メールマーケティングとCRM			効果的なメールマーケティングの基礎/顧客関係管理(CRM)の基礎				
	18	グループワーク			シーズナルキャンペーンのメール企画				
	19	中間プロジェクト発表(前期期末課題)			ミニマーケティングプラン作成/グループ発表とフィードバック				
	20								
履修上の留意点									
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。									

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】WEBマーケティング		指導担当者名	大川 翔	
実務経験	WEBマーケティング企画 実務経験3年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(コース時間合計450時間)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・WEBマーケティングの基礎から実践までを一貫して学び、実務で活かせる力を養う。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	・配布資料や参考文献 ・モニター使用				
授業外学習 の方法	・授業内容の復習やまとめ				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	ECサイト運営の基礎	ECサイトの構成要素/各ECプラットフォームの特徴と選び方/在庫管理と配送の基礎		
	2	グループワーク	仮想ECサイトの構築計画		
	3	ECサイト最適化とCRO	CROの基礎/商品ページの効果的な作り方/写真撮影とスタイリングのポイント		
	4	グループワーク	商品ページの改善提案		
	5	ファネルマーケティングと顧客獲得戦略	マーケティングファネルの概念/各段階に応じたコンテンツ設計		
	6	グループワーク	ファネル設計と各段階のアクション計画		
	7	UGCとコミュニティマーケティング	ユーザー生成コンテンツ(UGC)活用方法/コミュニティの育て方/ブランドアンバサダー		
	8	グループワーク	UGCキャンペーンの企画		
	9	ソーシャルセリングとライブコマース	InstagramShopping/FacebookShopping/ライブコマースの可能性		
	10	グループワーク	ソーシャルセリング戦略の立案		
	11	モバイルマーケティングとアプリの活用	モバイルファーストの考え方/アプリマーケティングの基礎/スマホ最適化のコンテンツ		
	12	グループワーク	モバイル向けマイクロサイト企画		
	13	ブランディングとWEB戦略	デジタル現代のブランディング/一貫したブランドイメージの提案		
	14	グループワーク	新規ファッションブランドのブランド戦略		
	15	最新トレンドと革新的マーケティング	サステナブルファッションの潮流/AR・VRの活動事例/バーチャルフィッティング		
	16	グループワーク	革新的マーケティング企画		
	17	最終プロジェクト(後期期末テスト)	実践的マーケティングプランの最終発表		
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ファッション販売論Ⅱ		指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験	アパレル企業実務経験9年				実務経験： 有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義：○	演習：	実習：	実技：	
時間数(通年)	90時間(コース時間合計450時間)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定2級取得。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売2」、「ファッション販売2 2級公式問題集」				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行った内容の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	1 ファッション販売知識	テキスト準備		
	2	1 ファッション販売知識	テキスト準備		
	3	小テスト	問題集準備		
	4	2 販売スタッフへの期待・販売スタッフの役割	テキスト準備		
	5	2 販売スタッフへの期待・販売スタッフの役割	テキスト準備		
	6	小テスト	問題集準備		
	7	3 ファッション販売技術	テキスト準備		
	8	3 ファッション販売技術	テキスト準備		
	9	小テスト	問題集準備		
	10	4 お客様に関する知識	テキスト準備		
	11	4 お客様に関する知識	テキスト準備		
	12	小テスト	問題集準備		
	13	5 商品知識	テキスト準備		
	14	5 商品知識	テキスト準備		
	15	期末テスト	期末テスト		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		【ECコース】ファッション販売論Ⅱ		指導担当者名		舞木 克奈子		
実務経験		アパレル企業実務経験9年					実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科 2年		
授業方法		講義:○		演習:		実習:		実技:
時間数		90時間(コース時間合計450時間)			週時間数		3時間	
学習到達目標		・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定2級取得。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売2」、「ファッション販売2 2級公式問題集」						
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。						
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	1 素材の種類と主要アイテム・配色の基本技術			テキスト準備			
	2	1 素材の種類と主要アイテム・配色の基本技術			テキスト準備			
	3	小テスト			問題集準備			
	4	2 売り場づくり			テキスト準備			
	5	2 売り場づくり			テキスト準備			
	6	小テスト			問題集準備			
	7	3 市場の変化とVMD・店舗コンセプトの具現化とVMD			テキスト準備			
	8	3 市場の変化とVMD・店舗コンセプトの具現化とVMD			テキスト準備			
	9	小テスト			問題集準備			
	10	4 マーケティング			テキスト準備			
	11	4 マーケティング			テキスト準備			
	12	小テスト			問題集準備			
	13	5 MDの知識と実践・リテールMD			テキスト準備			
	14	5 店舗運営管理／店舗運営管理の基本・店舗計数管理			テキスト準備			
	15	期末テスト			期末テスト			
	16	過去問対策			プリント準備			
	17	過去問対策			プリント準備			
	18	過去問対策			プリント準備			
	19	過去問対策			プリント準備			
	20	過去問対策			プリント準備			
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】フォトワーク		指導担当者名	中川 貴弘	
実務経験	フォトグラファー(カメラマン) 実務経験15年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(コース時間合計450時間)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・スタイリング撮影に必要なカメラ撮影の基礎知識として、スタジオ撮影、ロケ撮影などの違いを理解し、それぞれの表現技術を習得する。 ・アイテム撮影を通して、ECサイト担当スタッフに必要なささげ業務のひとつである撮影力を身に付ける。 ・撮影実習を通して表現の幅を広げていく。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	カメラ/撮影機材/筆記用具				
授業外学習 の方法	写真集や雑誌などから好きな写真をみつけてストックしていく				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	自己紹介/好きな写真発表		
	2	カメラの基礎①	写真とは/カメラの名称/カメラの使い方		
	3	カメラの基礎②	ピント/露出/構図①		
	4	カメラの基礎③	構図②/絞り		
	5	お散歩撮影会	学校周辺を散策しながら撮影		
	6	ライティング基礎①	自然光とライティングテクニック		
	7	ライティング撮影	外での撮影		
	8	ライティング撮影	室内での撮影		
	9	ライティング基礎②	ライティングと被写体の特性①		
	10	ライティング撮影	被写体の特性を考えた撮影		
	11	画像編集	画像編集テクニック		
	12	三脚の使い方	三脚を使用した撮影		
	13	商品撮影	商品撮影・物撮りテクニック		
	14	商品撮影	ECサイト用商品撮影		
	15	前期期末課題	作品提出		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		【ECコース】フォトワーク		指導担当者名		中川 貴弘	
実務経験		フォトグラファー(カメラマン) 実務経験15年				実務経験: 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義:		演習:○		実習: 実技:	
時間数(通年)		90時間(コース時間合計450時間)		週時間数		3時間	
学習到達目標		・スタイリング撮影に必要なカメラ撮影の基礎知識として、スタジオ撮影、ロケ撮影などの違いを理解し、それぞれの表現技術を習得する。 ・アイテム撮影を通して、ECサイト担当スタッフに必要なささげ業務のひとつである撮影力を身に付ける。 ・撮影実習を通して表現の幅を広げていく。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		カメラ/撮影機材/筆記用具					
授業外学習 の方法		写真集や雑誌などから好きな写真をみつけてストックしていく					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	スクラップ帳作成		写真集や雑誌などから好きな写真をみつけてストックしていく			
	2	スタジオ撮影の基礎知識と技術		バックペーパーセッティング/シャッタースピード			
	3	卒修展作品制作「ファッションフォト」		企画構成(テーマ・構図・ファッションスタイル・演出)			
	4	卒修展作品制作「ファッションフォト」		企画構成(テーマ・構図・ファッションスタイル・演出)			
	5	卒修展作品制作「ファッションフォト」		モデル撮影①			
	6	卒修展作品制作「ファッションフォト」		モデル撮影②			
	7	卒修展作品制作「ファッションフォト」		アイテム撮影①			
	8	卒修展作品制作「ファッションフォト」		アイテム撮影②			
	9	卒修展作品制作「ファッションフォト」		画像編集作業			
	10	後期期末テスト		卒修展作品提出・発表			
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		【ECコース】アパレル研究(SNS)		指導担当者名		舞木 克奈子		
実務経験		アパレル企業実務経験9年				実務経験:		有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年		
授業方法		講義:		演習:		実習:○		実技:
時間数(通年)		90時間(コース時間合計450時間)			週時間数		3時間	
学習到達目標		ファッションアドバイザー、ファッション業界を目指す者として常にファッションへの興味と研究心を持てる人材となる。 ファッションセンスを育みお洒落を目指す。 自身のファッションセンス、企画センス、コラージュセンス、プレゼンセンス等、お洒落を意識しながらセンスを伸ばせる人材となれるよう、個人研究やグループワークを通して学ぶ。 SNSマーケティングを学び、ファッションインスタグラマーになれる人材を目指す。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		PC/iPad/イラストレーターのための現代ファッション大図鑑/各種雑誌等 元SIBUYA109のSNS担当が教えるインスタマーケティング						
授業外学習の方法		SNS調査・雑誌調査						
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	オリエンテーション			評価基準と評価方法/学習目的/使用教材			
	2	ファッションアイコン研究			自分のメンズアイコン・レディースアイコンを探す・コラージュ制作			
	3	ファッションジャンル研究			好きなファッションジャンルについて最新のアイテムやコーデの特徴を研究・コラージュ			
	4	ファッションブランド研究			今までの研究を基にブランド調査し研究・コラージュする			
	5	トレンドアイテム研究と市場調査2025summer(グループワーク)			予算内でどんなコーデを組むか、どこで購入するかグループで企画する			
	6	VMDコーディネート用アイテムバイイング(グループワーク)			予算内で2025年summerコーデを近隣ショップでバイイング			
	7	アイテム物撮り/POP作成/VMD展示(グループワーク)			summerコーデ物撮り/POP作成/展示			
	8	個人研究発表準備(マイファッションについて)①			プレゼンテーション用パワーポイントの作成			
	9	個人研究発表準備(マイファッションについて)②			プレゼンテーション用パワーポイントの作成			
	10	マイファッションについての研究発表(前期期末テスト)			これまでの研究発表(パワポ提出・プレゼンテーションで発表)			
	11	SNS インスタマーケティングの基本①			Instagramについて/Instagramのビジネス活用/Instagramと売上			
	12	SNS インスタマーケティングの基本②			アカウント運用の概要と実践			
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】アパレル研究(SNS)		指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験	アパレル企業実務経験9年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数(通年)	90時間(コース時間合計450時間)		週時間数	3時間	
学習到達目標	ファッションアドバイザー、ファッション業界を目指す者として常にファッションへの興味と研究心を持てる人材となる。 ファッションセンスを育みお洒落を目指す。 自身のファッションセンス、企画センス、コラージュセンス、プレゼンセンス等、お洒落を意識しながらセンスを伸ばせる人材となれるよう、個人研究やグループワークを通して学ぶ。 SNSマーケティングを学び、ファッションインスタグラマーになれる人材を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	PC/iPad/イラストレーターのための現代ファッション大図鑑/各種雑誌等 元SIBUYA109のSNS担当が教えるインスタマーケティング				
授業外学習の方法	SNS調査・雑誌調査				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	SNS 運用体制づくり①	SNS担当者について/目標の設定/インサイトの見方/データ分析		
	2	SNS 運用体制づくり②	投稿の計画と振り返り/運営ガイドライン/トラブル対策		
	3	SNS プロフィールの整備①	プロフィールの重要性/アカウントのコンセプト設定/アカウントの運用スタイル		
	4	SNS プロフィールの整備②	ロールモデルの設定/プロフィールの整備/ハイライトの作り方/SNS担当者用語		
	5	SNS クリエイティブのコツ①	コンテンツづくりの基本/投稿の基本/フィード投稿/投稿文のコツ		
	6	SNS クリエイティブのコツ②	リールの作り方/運用スタイルごとのコンテンツ制作/ケーススタディ		
	7	SNS コミュニケーションのとりかた①	ユーザーとの交流とファンづくり/ストーリーズの魅力と作り方/ストーリーズの補助機能		
	8	SNS コミュニケーションのとりかた②	リボストのコツ/コメントへの返信/DMの基本/インスタライブのポイント		
	9	SNS マーケティング施策①	マーケティング施策の併用/Instagram広告/広告作成のコツ		
	10	SNS マーケティング施策②	ターゲティングについて/インスタグラマーについて/クロスメディアの活用		
	11	Instagramの運用実践(後期期末テスト)	これまでのInstagram運用についてアカウントをまとめ発表		
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		【ECコース】接客マナー		指導担当者名		水野 直美	
実務経験		秘書・キャビンアテンダント 実務経験10年				実務経験： 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
時間数(通年)		90時間(コース時間合計450時間)		週時間数		3時間	
学習到達目標		・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級の合格を目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」「サービス接客検定実問題集1-2級」					
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行った内容の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	オリエンテーション		テキスト / プリント 準備 サービススタッフの基本を考える			
	2	一般常識		テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け			
	3	一般常識		テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック			
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件		テキスト / プリント 準備 明るさと誠実さを、備えている			
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件		テキスト / プリント 準備 適切な判断と表現を、心得ている			
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件		テキスト / プリント 準備 身だしなみを心得ている			
	7	確認テスト		テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック			
	8	サービススタッフの資質 従業要件		テキスト / プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる			
	9	サービススタッフの資質 従業要件		テキスト / プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる			
	10	サービススタッフの資質 従業要件		テキスト / プリント 準備 清潔感について、理解できる			
	11	サービススタッフの資質 従業要件		テキスト / プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる			
	12	確認テスト		テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック			
	13	期末試験		試験問題 準備			
	14	試験フィードバック		テキスト / 試験問題 準備			
	15	専門知識 サービス知識		テキスト / プリント 準備 サービスの意義を、一応、理解できる			
	16	専門知識 サービス知識		テキスト / プリント 準備 サービスの機能を、一応、理解できる			
	17	専門知識 サービス知識		テキスト / プリント 準備 サービスの種類を知っている			
	18	専門知識 従業知識		テキスト / プリント 準備 商業用語が理解できる			
	19	専門知識 従業知識		テキスト / プリント 準備 経済用語が理解できる			
	20	確認テスト		テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック			
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		【ECコース】接客マナー		指導担当者名		水野 直美	
実務経験		秘書・キャビンアテンダント 実務経験10年				実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科2年	
授業方法		講義:○		演習:		実習:	
時間数(通年)		90時間(コース時間合計450時間)		週時間数		3時間	
学習到達目標		・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級の合格を目指す。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」「サービス接客検定実問題集1-2級」					
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行った内容の復習。					
学期	ターム	項 目		内 容・準 備 資 料 等			
授 業 計 画 後 期	1	一般知識 社会常識		テキスト / プリント 準備 社会常識が理解できる			
	2	一般知識 社会常識		テキスト / プリント 準備 時事問題を、一応、理解している			
	3	確認テスト		テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック			
	4	対人技能 人間関係		テキスト / プリント 準備 一般的に、人間関係が理解できる			
	5	対人技能 接客知識		テキスト / プリント 準備 対人心理が理解できる			
	6	対人技能 接客知識		テキスト / プリント 準備 一般的なマナーを心得ている			
	7	対人技能 接客知識		テキスト / プリント 準備 接客者としてのマナーを心得ている			
	8	対人技能 話し方		テキスト / プリント 準備 接客用語を知っている			
	9	対人技能 話し方		テキスト / プリント 準備 接客者としての基本的な話し方が理解できる			
	10	対人技能 話し方		テキスト / プリント 準備 提示、説明の仕方が理解できる			
	11	対人技能 服装		テキスト / プリント 準備 接客者としての適切な服装が理解できる			
	12	期末試験		試験問題 準備			
	13	試験フィードバック		テキスト / 試験問題 準備			
	14	実務技能 問題処理		テキスト / プリント 準備 問題処理について、理解できる			
	15	実務技能 環境整備		テキスト / プリント 準備 環境整備について、理解できる			
	16	実務技能 金品管理		テキスト / プリント 準備 金品管理について、理解できる			
	17	実務技能 社交業務		テキスト / プリント 準備 社交儀礼の業務について、理解できる			
	18	接客マナーのまとめ		テキスト / プリント 準備 練習問題の実施			
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		就職実務		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科3年	
授業方法		講義：○		演習：		実習：	
時間数(通年)		30時間		週時間数		1時間	
学習到達目標		・就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。					
評価方法 評価基準		・授業態度・提出物・活動状況等					
使用教材		・SUCCESS					
授業外学習の方法		・この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション		就職活動について			
	2	就職活動スケジュール組み立て		就職活動スケジュール再確認			
	3	企業検索/企業調査		各自の進捗に合わせた個別対応			
	4	企業検索/企業調査		各自の進捗に合わせた個別対応			
	5	企業検索/企業調査		各自の進捗に合わせた個別対応			
	6	企業検索/企業調査		各自の進捗に合わせた個別対応			
	7	企業検索/企業調査		各自の進捗に合わせた個別対応			
	8	企業検索/企業調査		各自の進捗に合わせた個別対応			
	9	企業検索/企業調査		各自の進捗に合わせた個別対応			
	10	企業検索/企業調査		各自の進捗に合わせた個別対応			
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務		指導担当者名	近内 睦美	
実務経験				実務経験:	無
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	30時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	・就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。				
評価方法 評価基準	・授業態度・提出物・活動状況等				
使用教材	・SUCCESS				
授業外学習の方法	・この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	2	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	3	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	4	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	5	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	6	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	7	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	8	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	9	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	10	企業検索/企業調査	各自の進捗に合わせた個別対応		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	制作実習	指導担当者名	近内 睦美
実務経験			実務経験： 無
開講時期	通年	対象学科学年	ファッション学科3年
授業方法	講義：	演習：	実習：○ 実技：
時間数(通年)	180時間	週時間数	6時間
学習到達目標	・2年間の学びを活かし、チームとしてファッションショーの企画立案からデザイン・制作までを務め、作り上げていく。 ・グループ制作を通じて、企画からデザイン、制作までを経験する。		
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。		
使用教材	・PC/iPad		
授業外学習 の方法	・各自リサーチ		
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	ファッションショー企画	ショー全体の説明/スケジュールリング
	2	ファッションショー企画	安出し/企画立案
	3	ファッションショー企画	企画書づくり/デザインづくり
	4	ファッションショー制作	企画書づくり/作図
	5	ファッションショー制作	企画書づくり/作図
	6	ファッションショー制作	トータルチェック/進捗確認
	7	ファッションショー制作	衣装作成/動画作成/ポスター作成
	8	ファッションショー制作	衣装作成/動画作成/ポスター作成
	9	ファッションショー制作	衣装作成/動画作成/ポスター作成
	10	ファッションショー制作	衣装作成/動画作成/ポスター作成
	11	ファッションショー制作	衣装昨債/広報活動
	12	ファッションショー制作	衣装昨債/広報活動
	13	ファッションショー制作	衣装昨債/広報活動
	14	ファッションショー制作	衣装昨債/広報活動
	15	ファッションショー制作	衣装昨債/広報活動
	16	ファッションショー制作	衣装作製/衣装確認
	17	ファッションショー制作	衣装修正
	18	ファッションショー制作	衣装完成/演出
	19	最終確認	最終打合せ/最終会議/リハーサル
	20	ファッションショー	ファッションショー
履修上の留意点			
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。			

授業計画(シラバス)

科目名		制作実習		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科3年	
授業方法		講義：		演習：		実習：○ 実技：	
時間数(通年)		180時間		週時間数		6時間	
学習到達目標		・2年間の学びを活かし、チームとしてファッションショーの企画立案からデザイン・制作までを務め、作り上げていく。 ・グループ制作を通じて、企画からデザイン、制作までを経験する。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		・PC/iPad					
授業外学習 の方法		・各自リサーチ					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	グループ制作		各グループに分かれ自主制作の内容説明			
	2	グループ制作		企画づくり			
	3	グループ制作		企画づくり			
	4	グループ制作		グループ発表			
	5	グループ制作		各グループ制作			
	6	グループ制作		各グループ制作			
	7	グループ制作		各グループ制作			
	8	グループ制作		各グループ制作			
	9	グループ制作		各グループ制作			
	10	グループ制作		作品発表			
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション学Ⅲ		指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験	アパレル企業実務経験9年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:◎	演習:○		実習:○	実技:
時間数(通年)	70時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	教科書 ストリートスタイル				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	ファッション史 導入	授業の取り組みについて		
	2	バロック時代	ドレス、時代背景について、画像、映画参照		
	3	ロココ時代①	ドレス、時代背景について、画像、映画参照、CM		
	4	ロココ時代②～マリーアントワネットの生き方～	ドキュメンタリー参照		
	5	新古典主義	ドレス、時代背景について、画像、映画参照		
	6	1900年代までのドレスまとめ	ドレス、時代について総まとめ		
	7	1910年 女姓ファッションと文化	女性ファッション時代について		
	8	1920年 女姓ファッションと文化	女性ファッション時代について		
	9	1940年代のファッションと文化	戦争中のファッションについて		
	10	1950年代のファッションと文化	戦後のファッション		
	11	パンクムーブメント	パンクの歴史		
	12	80年代ブランドブーム	80年代のブランドについて		
	13	90年代バブルファッションについて	90年代のバブルファッション		
	14	デニムの歴史	デニムの歴史について		
	15	前期期末テスト			
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ファッション学Ⅲ		指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験	アパレル企業実務経験9年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:◎	演習:○		実習:○	実技:
時間数(通年)	70時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	教科書 ストリートスタイル				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	1930年～1940年 女性ファッションと文化	ファッション、文化について 画像資料参照		
	2	1950年 女性ファッションと文化、デザイナー	ファッション、文化について 画像資料参照		
	3	1960年 ファッションと文化、デザイナー	ファッション、文化について 画像資料参照		
	4	1970～1980年 ファッションと文化、デザイナー	ファッション、文化について 画像資料参照		
	5	1990年 ファッションと文化	ファッション、文化について 画像資料参照		
	6	ジーンズの歴史	ジーンズのルーツ、日本のジーンズとの関わり		
	7	ヒップホップのファッション歴史について	ファッション、文化について 画像資料参照		
	8	モッズファッションの歴史について	ファッション、文化について 画像資料参照		
	9	サイケデリックファッションの歴史について	ファッション、文化について 画像資料参照		
	10	ギャルファッションについて	ファッション、文化について 画像資料参照		
	11	海外ファッションの移り変わりまとめ	ファッション、文化について 画像資料参照		
	12	ファッション映画① 歴史について	レポート提出		
	13	ファッション映画② 歴史について	レポート提出		
	14	ファッション映画③ 歴史について	レポート提出		
	15	グランジファッション	ファッション、文化について 画像資料参照		
	16	メイクの歴史	ファッション、文化について 画像資料参照		
	17	コレクションの歴史	ファッション、文化について 画像資料参照		
	18	後期期末テスト			
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	スタイリングマップⅡ		指導担当者名	近内 睦美	
実務経験				実務経験:	無
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	日本ファッションスタイリスト協会 StylingMap トータルスタイリスト検定プレイヤーレベル取得 お客様やクライアントの「なりたい」だけでなく、「似合う」スタイルを提案できるレベル。「個性」を活かしつつ「なりたい」を叶えるス タイリング提案ができるレベル。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	日本ファッションスタイリスト協会 スタイリングの教科書/検定対策テキスト/e-learning				
授業外学習 の方法	e-learningを使用した自宅学習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	ジュニアレベルの振り返り	はじめに/第1章 PART1 「スタイリングって何？」教科書p13～24		
	2	実践①	「アイテムを見分ける前に」「アイテムの個性の優先順位」教科書p162～164		
	3	物の個性を知ろう①	「全身アイテムチェック」「アイテムを見分けてみよう」教科書p166～168		
	4	物の個性を知ろう②	「①人の色の見分け方 カラーウィッグの構成と使い方」教科書p170～175		
	5	物の個性を知ろう③	「①人の色の見分け方 カラーウィッグの構成と使い方」教科書p170～175		
	6	物の個性を知ろう④	「①人の色の見分け方 似合う色・似あわない色での変化」教科書p176～177		
	7	人と物をスタイリングしよう①	「②人の形の見分け方 写真で見分ける」教科書p178～179		
	8	人と物をスタイリングしよう②	「②人の形の見分け方 パーツバランスをゾーンで見分ける」教科書p180～181		
	9	人と物をスタイリングしよう③	「③人の素材の見分け方 素材を見分ける練習」教科書p182～183		
	10	スタイリングの提案画①	トレース練習		
	11	スタイリングの提案画②	トレース練習		
	12	コミュニケーションタイプシート①	チェックシートの活用練習		
	13	コミュニケーションタイプシート②	チェックシートの活用練習		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	スタイリングマップⅡ		指導担当者名	近内 睦美	
実務経験				実務経験:	無
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	60時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	日本ファッションスタイリスト協会 StylingMap トータルスタイリスト検定プレイヤーレベル取得 お客様やクライアントの「なりたい」だけでなく、「似合う」スタイルを提案できるレベル。「個性」を活かしつつ「なりたい」を叶えるスタイリング提案ができるレベル。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	日本ファッションスタイリスト協会 スタイリングの教科書/検定対策テキスト/e-learning				
授業外学習 の方法	e-learningを使用した自宅学習				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	2	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	3	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	4	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	5	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	6	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	7	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	8	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	9	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	10	検定対策	検定対策ノート(プレイヤーレベル)		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		卒業制作		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		後期		対象学科学年		ファッション学科3年	
授業方法		講義：		演習：		実習：○ 実技：	
時間数(通年)		60時間		週時間数			
学習到達目標		・2年間で学習した各科目の知識・技術を活かし、自主制作を行う。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出物、プレゼンテーション等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		3年間で使用したテキスト / 道具一式					
授業外学習 の方法		ファッション業界全体の情報収集など。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	卒業制作の概要 / 企画		情報収集 / プランニング / 企画考案 / デザイン出し / パターン制作 等			
	2	卒業制作の概要 / 企画		情報収集 / プランニング / 企画考案 / デザイン出し / パターン制作 等			
	3	企画 / 制作準備		企画書作成 / デザイン出し / パターン制作 / 生地購入 等			
	4	企画 / 制作準備		企画書作成 / デザイン出し / パターン制作 / 生地購入 等			
	5	中間チェック / 制作		パターン制作 / 生地購入 / 衣装制作 等			
	6	中間チェック / 制作		パターン制作 / 生地購入 / 衣装制作 等			
	7	中間チェック / 制作		パターン制作 / 生地購入 / 衣装制作 等			
	8	製作 / プレゼンテーション準備		衣装制作 / プレゼンテーション資料作成(企画書をパワーポイントにて作成) 等			
	9	製作 / プレゼンテーション準備		衣装制作 / プレゼンテーション資料作成(企画書をパワーポイントにて作成) 等			
	10	プレゼンテーション		作品、作成資料準備 資料提出			
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名	商品企画(ショー企画)Ⅲ		指導担当者名	大島 成也	
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験35年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・ファッションショーと衣装の企画について学びファッションショーを完成させる ・オリジナルブランドの企画立案				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備				
授業外学習 の方法	授業内での配布資料の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	ファッションショーとは①	ファッション業界におけるショーの役割と意義		
	2	ファッションショーとは②	ファッションショーの企画立案に必要な知識/ファッションショー調査		
	3	ファッションショーとは③	創造性、問題解決能力、プレゼンテーション能力の向上		
	4	ファッションショーとは④	チームで協力し、ショーを成功させるための実践的なスキル		
	5	企画作成①	テーマ、コンセプト、タイトルの作成		
	6	企画作成②	コンセプトに基づいた企画、演出、広報戦略の立案		
	7	デザイン作成①	コンセプトに基づいたデザインの立案		
	8	デザイン作成②	デザイン選考		
	9	衣装企画①	ディティール・カラーの調整/生地選び		
	10	衣装企画②	生地・付属品選び		
	11	衣装制作と広報活動①	パターン作成/広報活動		
	12	衣装制作と広報活動②	パターン作成/広報活動		
	13	衣装制作と広報活動③	パターン作成/広報活動		
	14	衣装制作と広報活動④(前期期末テスト)	トータルチェック/ポスター完成チェック		
	15	衣装制作と広報活動⑤	衣装制作/広報活動		
	16	衣装制作と広報活動⑥	衣装制作/広報活動		
	17	衣装制作と広報活動⑦	衣装制作/広報活動		
	18	衣装制作と広報活動⑧	衣装制作/広報活動		
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		商品企画(ショー企画)Ⅲ		指導担当者名		大島 成也	
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験35年				実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科3年	
授業方法		講義:		演習:○		実習:	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備					
授業外学習 の方法		授業内での配布資料の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	オリジナルブランドの企画立案①		ターゲットリサーチ・トレンド調査			
	2	オリジナルブランドの企画立案②		市場調査			
	3	オリジナルブランドの企画立案③		テーマ・コンセプト・タイトルの立案			
	4	企画書①		企画書作成			
	5	企画書②		企画書作成			
	6	企画書③		企画書作成			
	7	企画発表		プレゼンテーション			
	8	制作④		オリジナル制作			
	9	制作⑤		オリジナル制作			
	10	制作⑥		オリジナル制作			
	11	進捗チェック		ここまでの取り組み確認			
	12	制作⑦		オリジナル制作			
	13	制作⑧		オリジナル制作			
	14	最終プレゼンテーション(後期期末テスト)		プレゼンテーション			
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		デジタルデザインⅢ(オリジナル制作)		指導担当者名		熊田 裕太	
実務経験		グラフィックデザイナー 実務経験10年				実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科3年	
授業方法		講義:		演習:○		実習:	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		アパレル・ファッション業界でマルチに活躍できる人材を目指し、IllustratorやPhotoshopを学びデジタルスキルを身に付ける。デジタルデザイン力を伸ばし、ファッションデザインや商品企画に活かす。					
評価方法 評価基準		クオリティとプレゼンテーションを確認し、評価を行う。					
使用教材		PC・Adobe (Illustrator・Photoshop・Acrobat等)					
授業外学習の方法		授業内で出された課題を仕上げる					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	ファッションブランドの立ち上げ企画		ブランドロゴ／シーズンビジュアル(ポスター)／ショッピングバッグ／SNS用広告バナー			
	2	自主制作		ブランドロゴ／シーズンビジュアル(ポスター)／ショッピングバッグ／SNS用広告バナー			
	3	自主制作		ブランドロゴ／シーズンビジュアル(ポスター)／ショッピングバッグ／SNS用広告バナー			
	4	自主制作		ブランドロゴ／シーズンビジュアル(ポスター)／ショッピングバッグ／SNS用広告バナー			
	5	課題発表		ブランドロゴ／シーズンビジュアル(ポスター)／ショッピングバッグ／SNS用広告バナー			
	6	ルックブックのビジュアル制作		モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作			
	7	自主制作		モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作			
	8	自主制作		モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作			
	9	自主制作		モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作			
	10	課題発表		モデル写真を使用し、Photoshopでルックブックのページデザインを制作			
	11	テキスタイルパターン制作と応用展開		オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成			
	12	自主制作		オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成			
	13	自主制作		オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成			
	14	自主制作		オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成			
	15	課題発表		オリジナルの総柄パターンを作成しTシャツ・トートバッグ・服などにモックアップ合成			
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名		デジタルデザインⅢ(オリジナル制作)		指導担当者名		熊田 裕太	
実務経験		グラフィックデザイナー 実務経験10年				実務経験: 有	
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科3年	
授業方法		講義:		演習:○		実習: 実技:	
時間数(通年)		90時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		アパレル・ファッション業界でマルチに活躍できる人材を目指し、IllustratorやPhotoshopを学びデジタルスキルを身に付ける。デジタルデザイン力を伸ばし、ファッションデザインや商品企画に活かす。					
評価方法 評価基準		クオリティとプレゼンテーションを確認し、評価を行う。					
使用教材		PC・Adobe (Illustrator・Photoshop・Acrobat等)					
授業外学習 の方法		授業内で出された課題を仕上げる					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	ファッションイベントの広告ビジュアル制作		架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作			
	2	自主制作		架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作			
	3	自主制作		架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作			
	4	自主制作		架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作			
	5	課題発表		架空のファッションショーやPOP-UPイベントを想定し、ポスター＋SNSバナーを制作			
	6	ファッション×社会課題をテーマにしたアートポスター		ファッション表現を通して社会的テーマを訴える			
	7	自主制作		ファッション表現を通して社会的テーマを訴える			
	8	自主制作		ファッション表現を通して社会的テーマを訴える			
	9	自主制作		ファッション表現を通して社会的テーマを訴える			
	10	課題発表		ファッション表現を通して社会的テーマを訴える			
	11	ファッション・ビジュアルセルフブランディング		自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作			
	12	自主制作		自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作			
	13	自主制作		自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作			
	14	自主制作		自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作			
	15	課題発表		自身のスタイル・世界観を伝えるビジュアル制作			
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】デザイン画Ⅲ		指導担当者名	大島 成也	
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験35年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(コース時間合計270時間)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・各コンテスト入賞を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、 ・水彩絵の具一式、コピック各種、配布資料 プリント準備				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	オリエンテーション	各コンテストの傾向/ポートフォリオについて		
	2	ナゴヤファッションコンテスト	デザイン案提出と修正		
	3	ナゴヤファッションコンテスト	応募作品の作成		
	4	ナゴヤファッションコンテスト	応募作品の作成と提出		
	5	全国ファッションデザインコンテスト/革コン	デザイン案提出と修正		
	6	全国ファッションデザインコンテスト/革コン	応募作品の作成		
	7	全国ファッションデザインコンテスト/革コン	応募作品の作成と提出		
	8	日暮里デザインコンテスト	デザイン案提出と修正		
	9	日暮里デザインコンテスト	応募作品の作成		
	10	日暮里デザインコンテスト	応募作品の作成と提出		
	11	N1モードグランプリ	デザイン案提出と修正		
	12	N1モードグランプリ	応募作品の作成		
	13	N1モードグランプリ	応募作品の作成と提出		
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】デザイン画Ⅲ		指導担当者名	大島 成也	
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験35年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(コース時間合計270時間)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・卒業制作に向けたポートフォリオとデザイン画の作成				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	・テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、 ・水彩絵の具一式、コピック各種、配布資料 プリント準備				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	卒業制作ポートフォリオ	卒業制作ポートフォリオのコンセプトづくり		
	2	卒業制作ポートフォリオ	卒業制作ポートフォリオの素材集め		
	3	卒業制作ポートフォリオ	卒業制作ポートフォリオの素材集め		
	4	卒業制作ポートフォリオ	デザイン案(ポートフォリオの作成)		
	5	卒業制作ポートフォリオ	デザイン案(ポートフォリオの作成)		
	6	卒業制作ポートフォリオ	デザイン案(ポートフォリオの作成)		
	7	卒業制作デザイン画	企画書用デザイン画作成		
	8	卒業制作デザイン画	企画書用デザイン画作成		
	9	卒業制作デザイン画	企画書用デザイン画作成		
	10	期末課題提出	完成したポートフォリオ提出		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		【FDコース】パターンメイキングⅢ		指導担当者名		笹原 和加子	
実務経験		パタンナー 実務経験22年				実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科3年	
授業方法		講義:		演習:○		実習:	
実技:							
時間数(通年)		180時間(コース時間合計270時間)		週時間数		6時間	
学習到達目標		・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。 ・日本ファッション教育普及委員会パターンメイキング技術検定2級取得					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック」 テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級試験問題 解答・解説集」					
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	筆記検定対策		過去問用意			
	2	筆記検定対策		過去問用意			
	3	筆記検定対策		過去問用意			
	4	筆記検定対策		過去問用意			
	5	筆記検定対策		過去問用意			
	6	筆記検定対策		過去問用意			
	7	筆記検定対策		過去問用意			
	8	筆記検定対策		過去問用意			
	9	実技試験対策		過去問用意			
	10	実技試験対策		過去問用意			
	11	実技試験対策		過去問用意			
	12	実技試験対策		過去問用意			
	13	実技試験対策		過去問用意			
	14	実技試験対策		過去問用意			
	15	実技試験対策		過去問用意			
	16	実技試験対策		過去問用意			
	17	実技試験対策		過去問用意			
	18	実技試験対策		過去問用意			
	19	実技試験対策		過去問用意			
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】パターンメイキングⅢ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パタンナー 実務経験22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	180時間(コース時間合計270時間)		週時間数	6時間	
学習到達目標	・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック」 テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級試験問題 解答・解説集」				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	オリジナル作品製作①	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 1作品目		
	2	オリジナル作品製作①	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 1作品目		
	3	オリジナル作品製作①	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 1作品目		
	4	オリジナル作品製作①	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 1作品目		
	5	オリジナル作品製作①	課題提出		
	6	オリジナル作品製作②	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 2作品目		
	7	オリジナル作品製作②	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 2作品目		
	8	オリジナル作品製作②	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 2作品目		
	9	オリジナル作品製作②	3年間の学びを活かしオリジナル作品のパターンを仕上げる 2作品目		
	10	オリジナル作品製作②	課題提出		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】WEBショップ運営		指導担当者名	大川 翔	
実務経験	WEBマーケティング企画 実務経験3年			実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数(通年)	180時間(コース時間合計270時間)		週時間数	6時間	
学習到達目標	・アパレルEC担当としてWEBサイトの企画やマーケティングを体験する。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	・配布資料や参考文献 ・モニター使用				
授業外学習 の方法	・授業内容のまとめ				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	WEBショップについての知識①	e-コマースの定義		
	2	WEBショップについての知識②	ECサイトの定義・関連法規について		
	3	EC担当の作業①	ささげ業務について		
	4	EC担当の作業②	キックオフ・商品登録		
	5	EC担当の作業③	在庫登録・検品・オープン作業		
	6	EC担当の作業④	梱包作業・修正作業		
	7	WEBショップ企画	WEBショップの企画を考える		
	8	企画プレゼンテーション(前期期末課題)	各個人企画プレゼンテーション		
	9	第一回WEBショップ企画会議	グループディスカッションで企画会議		
	10	第二回WEBショップ企画会議	グループディスカッションで企画会議		
	11	第三回WEBショップ企画会議	グループディスカッションで企画会議		
	12	第四回WEBショップ企画会議	企画決定・企画発表		
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】WEBショップ運営		指導担当者名	大川 翔	
実務経験	WEBマーケティング企画 実務経験3年			実務経験:	
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数(通年)	180時間(コース時間合計270時間)		週時間数	6時間	
学習到達目標	・アパレルEC担当としてWEBサイトの企画やマーケティングを体験する。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	・配布資料や参考文献 ・モニター使用				
授業外学習 の方法	・授業内容のまとめ				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	WEBショップ演習	WEBショップ演習		
	2	WEBショップ演習	WEBショップ演習		
	3	WEBショップ演習	WEBショップ演習		
	4	WEBショップ演習	WEBショップ演習		
	5	WEBショップ演習	WEBショップ演習		
	6	WEBショップ演習	WEBショップ演習		
	7	これまでの活動まとめ	WEBショップ企画まとめ・資料作成		
	8	これまでの活動まとめ	WEBショップ企画まとめ・資料作成		
	9	これまでの活動まとめ	WEBショップ企画まとめ・資料作成		
	10	活動発表(後期期末テスト)	これまでの取り組み発表		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ファッションビジネス論Ⅱ		指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験	アパレル企業実務経験9年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(コース時間合計270時間)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定2級取得を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス[Ⅰ]」、授業時間内の資料配布				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 前 期	1	ファッションビジネスの特性	テキスト準備		
	2	ファッション生活とファッション消費	テキスト準備		
	3	小テスト	問題集準備		
	4	ファッション産業構造	テキスト準備		
	5	ファッションマーケティング	テキスト準備		
	6	小テスト	問題集準備		
	7	ファッションマーチャンダイジング	テキスト準備		
	8	アパレル生産と物流	テキスト準備		
	9	小テスト	問題集準備		
	10	ファッション流通とコミュニケーション	テキスト準備		
	11	キャリアプラン	テキスト準備		
	12	小テスト	問題集準備		
	13	ビジネス基礎知識	テキスト準備		
	14	ファッション文化とデザイン文化	テキスト準備		
	15	期末テスト	期末テスト		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ファッションビジネス論Ⅱ		指導担当者名	舞木 克奈子	
実務経験	アパレル企業実務経験9年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科3年	
授業方法	講義: ○	演習:		実習:	実技:
時間数(通年)	90時間(コース時間合計270時間)		週時間数	3時間	
学習到達目標	・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定2級取得を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス2級」、授業時間内の資料配布				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授 業 計 画 後 期	1	ファッションコーディネート	テキスト準備		
	2	ファッション商品知識	テキスト準備		
	3	小テスト	問題集準備		
	4	ファッションデザイン	テキスト準備		
	5	ファッションエンジニアリング	テキスト準備		
	6	小テスト	問題集準備		
	7	後期試験	テキスト / 試験問題 準備		
	8	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備		
	9	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備		
	10	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備		
	11	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備		
	12	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備		
	13	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備		
	14	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備		
	15	期末テスト	期末テスト		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、中間試験の受験資格を与えない。					